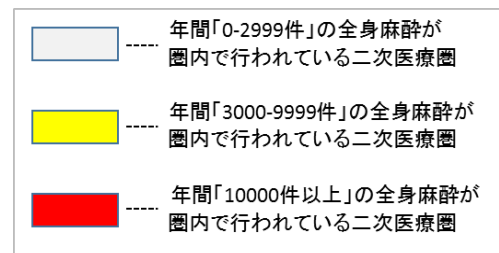
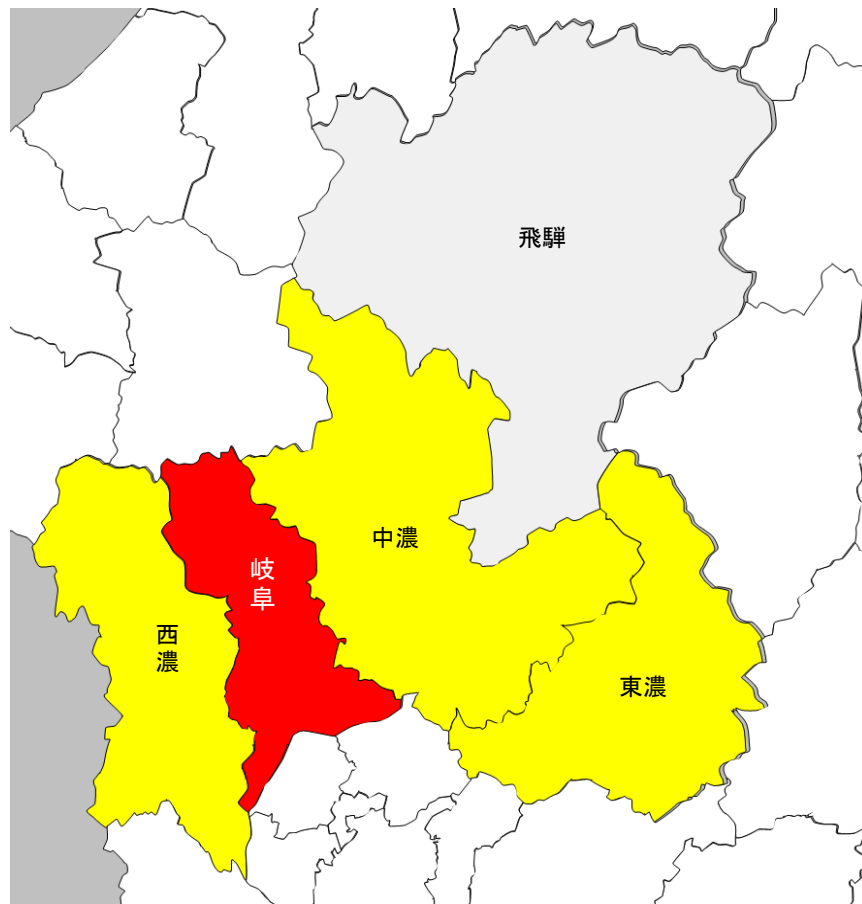


21. 岐阜県

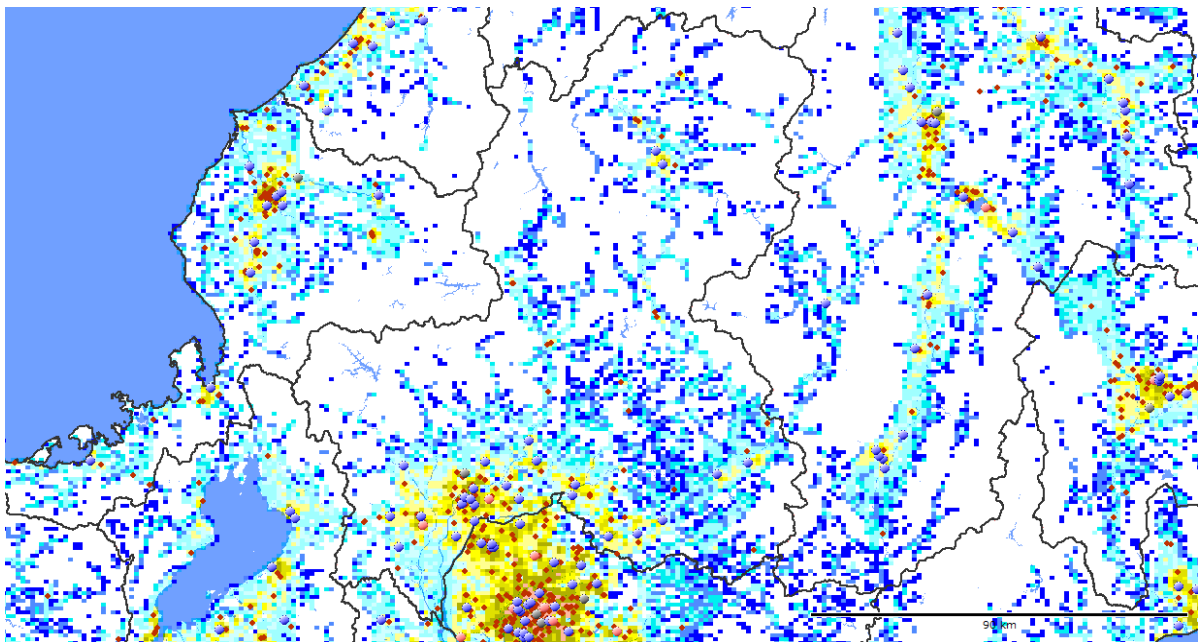


目次

岐阜県	21	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	21	-	8
1. 岐阜医療圏	21	-	20
2. 西濃医療圏	21	-	25
3. 中濃医療圏	21	-	30
4. 東濃医療圏	21	-	35
5. 飛騨医療圏	21	-	40

21. 岐阜県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(岐阜県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 岐阜県は、総人口約2032千人(2015年)、面積10621km²、人口密度は191人/km²である。

***人口の将来予測：** 岐阜県の総人口は2025年に1908千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に1660千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の276千人が、2025年にかけて359千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には350千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 岐阜県の一人当たり医療費(国保)は347千円(偏差値51)、介護給付費は246千円(偏差値48)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 岐阜県の一人当たり急性期医療密度指数²は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.64で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が46(病院医師数45、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 岐阜県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、25886人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が17456床(偏差値51)、高齢者住宅等が8430床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、20709人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム41、軽費ホーム50、グループホーム55、サ高住44である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2623人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は-26%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

岐阜県の総人口は、2005年2107226人が、2015年に2031903人と4%減少し、2025年の人口が1907818人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

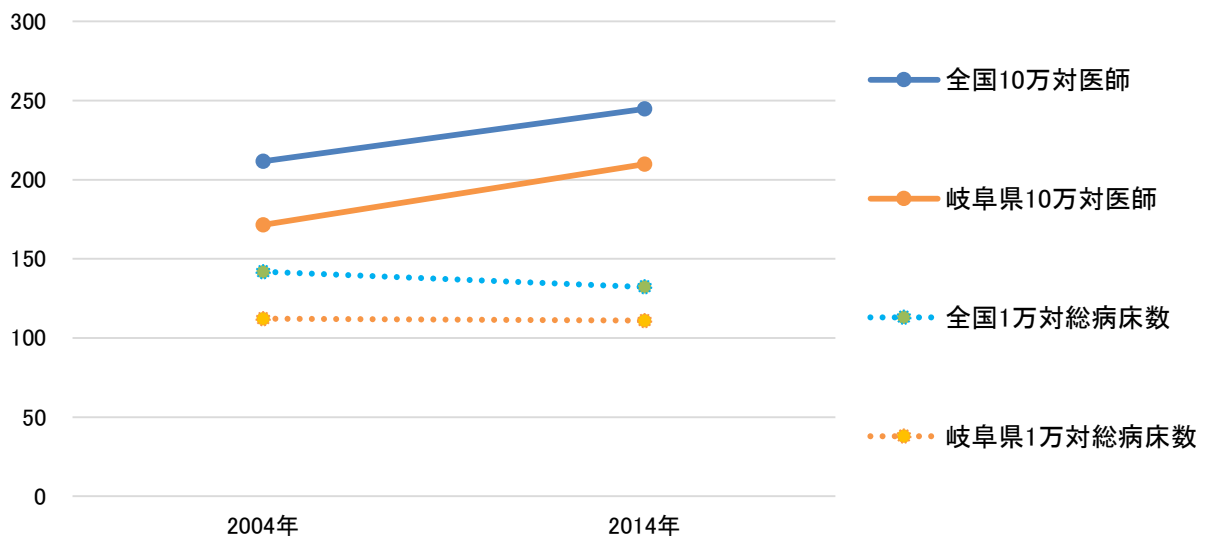
2004年の病院数が112(人口10万人当たり5.3病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に102(人口10万人当たり5病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で10病院が減少した。

2004年の診療所数が1467(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に1579(人口10万人当たり78診療所(全国平均79)偏差値49)と、112診療所が増加した。

2004年の総病床数が23642床(人口1万人当たり112(全国平均142)偏差値45)であったが、2014年に22533床(人口1万人当たり111(全国平均132)偏差値46)と、1109床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

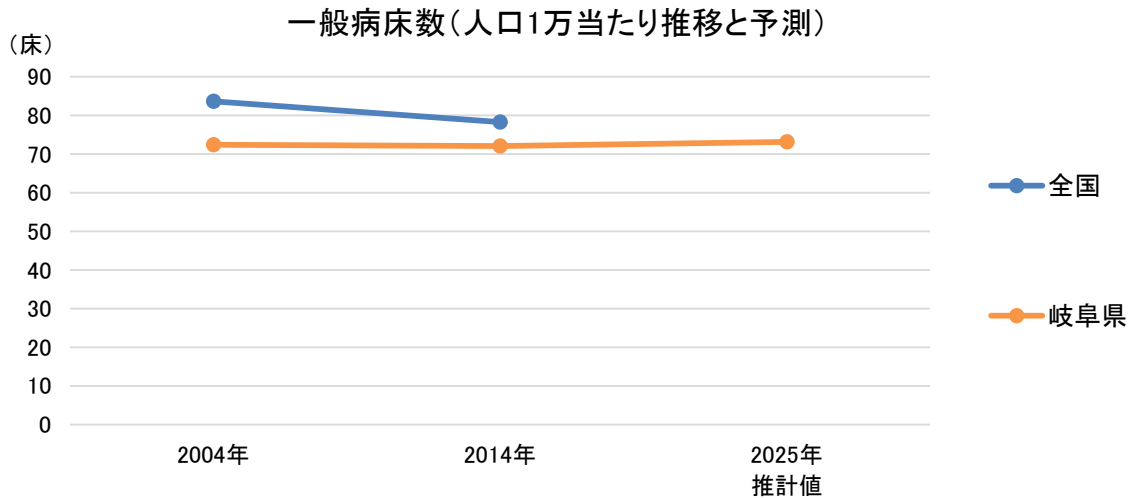
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が3614人(人口10万人当たり172人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に4262人(人口10万人当たり210人(全国平均245人)偏差値46)と、648人の増加、率にして18%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



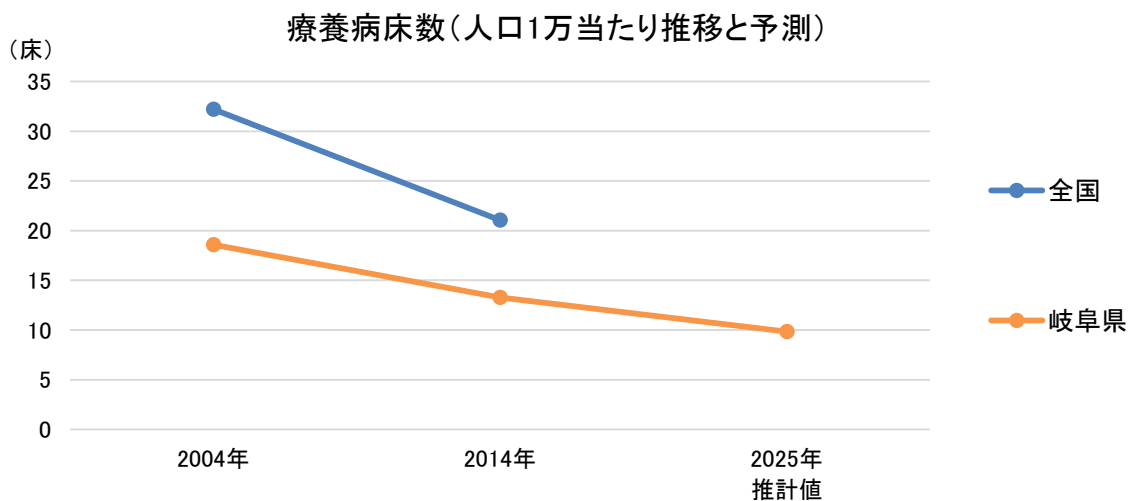
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が15264床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に14639床(人口1万人当たり72(全国平均78)偏差値48)と、625床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には13951床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



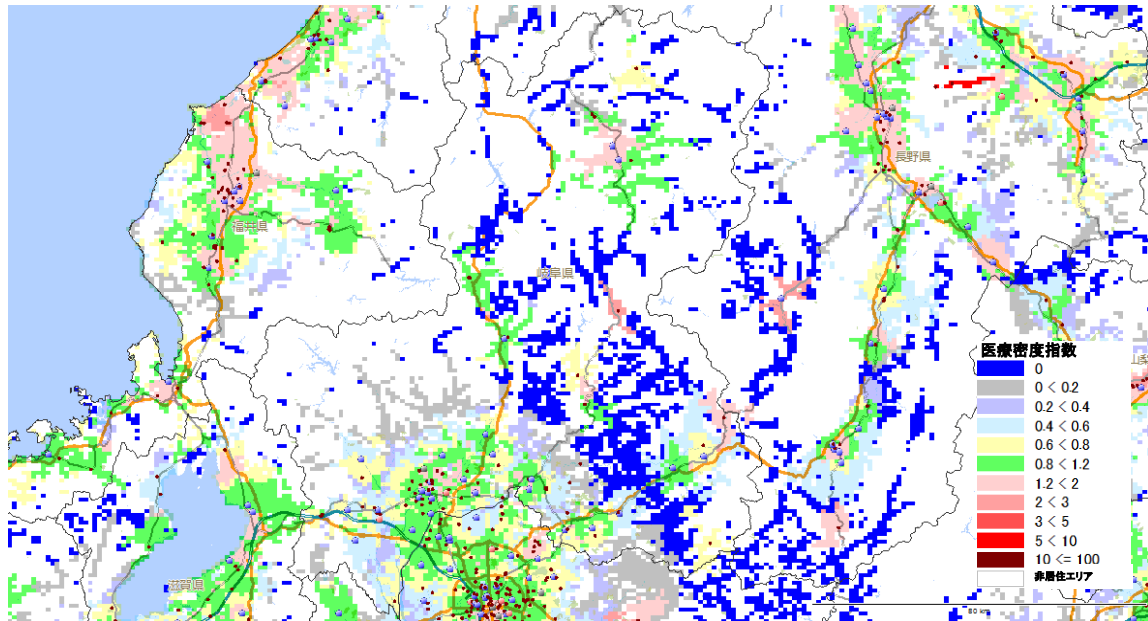
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3778床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に3661床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値43)と、117床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3534床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



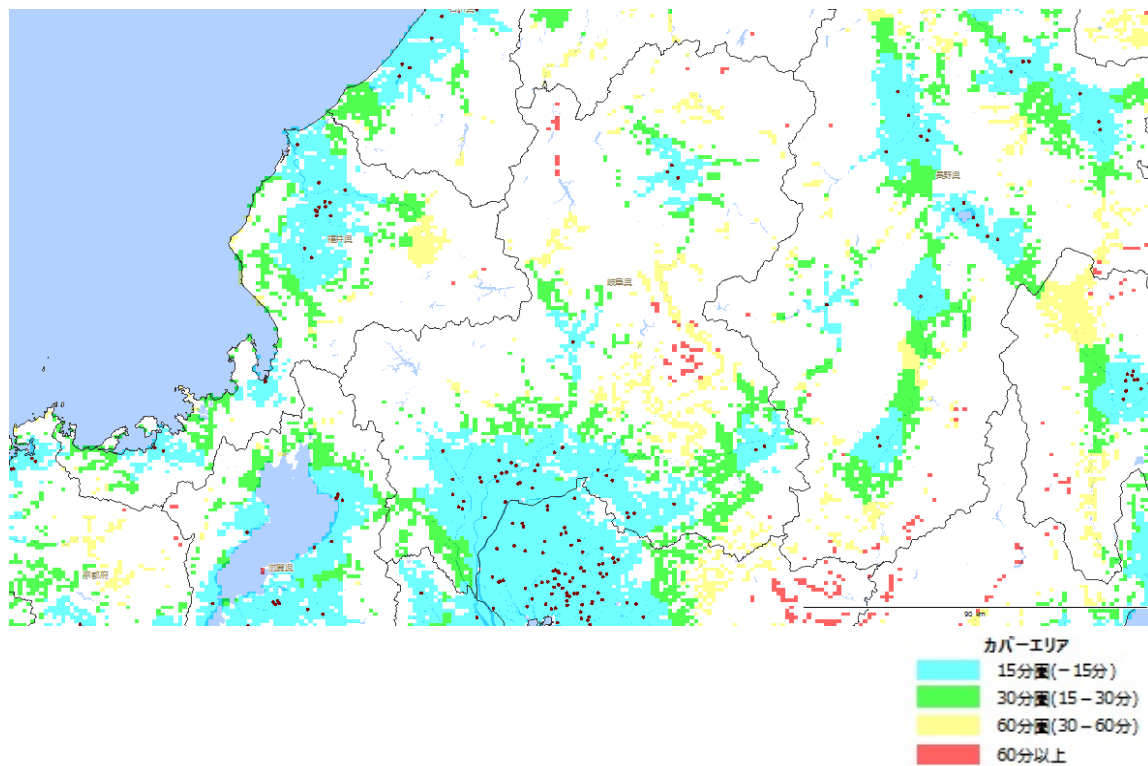
(岐阜県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表21-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 21-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
岐阜県	2,032	17位	10,621	7位	191.3		28%	1,908	1,660	276	359	350	-6%	-13%	30%	-3%
岐阜	800	39%	993	9%	805.2	地方都市型	26%	766	685	98	132	128	-4%	-11%	35%	-3%
西濃	372	18%	1,433	13%	259.9	地方都市型	28%	350	303	49	64	63	-6%	-13%	31%	-2%
中濃	374	18%	2,454	23%	152.3	地方都市型	28%	352	308	52	68	69	-6%	-13%	31%	1%
東濃	337	17%	1,563	15%	215.6	地方都市型	30%	307	256	51	64	62	-9%	-17%	25%	-3%
飛騨	149	7%	4,178	39%	35.7	過疎地域型	33%	133	108	27	32	28	-11%	-19%	19%	-13%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 21-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
岐阜県	0.74	0.64	23,142	29,204	-26.2%
岐阜	0.96	0.69	8,118	10,719	-32.0%
西濃	0.53	0.52	4,486	5,185	-15.6%
中濃	0.60	0.55	4,328	5,536	-27.9%
東濃	0.52	0.66	4,202	5,198	-23.7%
飛騨	1.00	3.49	2,008	2,565	-27.7%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 21-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
岐阜県	347	51	0.987	124	48	0.931	198	55	1.022	246	48
岐阜	348	51	1.023	124	48	0.958	199	56	1.065	242	47
西濃	350	52	0.985	122	47	0.906	201	57	1.027	255	51
中濃	342	50	0.970	127	49	0.944	191	51	0.984	230	44
東濃	349	51	0.949	118	46	0.842	206	59	1.017	249	49
飛騨	343	50	0.939	139	53	1.001	182	46	0.905	269	54
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表21-35を参照。

資_図表 21-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
岐阜県	102	1.2%	5.0	46	1,591	1.6%	78	49
岐阜	42	41%	5.3	47	690	43%	86	54
西濃	17	17%	4.6	45	262	16%	70	45
中濃	18	18%	4.8	45	260	16%	70	45
東濃	15	15%	4.5	45	245	15%	73	46
飛騨	10	10%	6.7	50	134	8%	90	56
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 21-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床 診療所数				有床 診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
岐阜県	1,591	1.6%	78	49	1,449	1.6%	71	49	142	1.8%	7.0	51
岐阜	690	43%	86	54	616	43%	77	52	74	52%	9.3	55
西濃	262	16%	70	45	237	16%	64	45	25	18%	6.7	51
中濃	260	16%	70	45	240	17%	64	45	20	14%	5.4	49
東濃	245	15%	73	46	229	16%	68	47	16	11%	4.7	48
飛騨	134	8%	90	56	127	9%	85	57	7	5%	4.7	48
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 21-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
岐阜県	20,819	1.3%	1,025	46	1,700	1.6%	84	50	22,519	1.3%	1,108	46
岐阜	8,711	42%	1,089	47	866	51%	108	52	9,577	43%	1,197	48
西濃	3,777	18%	1,014	46	306	18%	82	50	4,083	18%	1,096	46
中濃	3,319	16%	888	43	226	13%	60	48	3,545	16%	949	43
東濃	3,196	15%	948	44	222	13%	66	48	3,418	15%	1,014	45
飛騨	1,816	9%	1,218	50	80	5%	54	47	1,896	8%	1,272	49
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 21-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
岐阜県	13,287	1.5%	654	48	3,315	1.0%	163	45	4,050	1.2%	199	47
岐阜	5,998	45%	750	52	1,401	42%	175	46	1,242	31%	155	45
西濃	1,947	15%	523	42	778	23%	209	48	1,006	25%	270	50
中濃	2,086	16%	558	44	518	16%	139	44	705	17%	189	47
東濃	2,143	16%	636	47	381	11%	113	43	643	16%	191	47
飛騨	1,113	8%	747	52	237	7%	159	45	454	11%	305	52
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 21-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期				地域包括ケア			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
岐阜県	887	1.2%	44	47	1,288	2.1%	63	51
岐阜	497	56%	62	51	496	39%	62	51
西濃	96	11%	26	43	215	17%	58	50
中濃	92	10%	25	43	239	19%	64	51
東濃	131	15%	39	46	157	12%	47	48
飛騨	71	8%	48	48	181	14%	121	61
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 21-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
岐阜県	9,789	8,367	578	10,323	4,413	2,577	65.5%	55	18.3%	54
岐阜	4,113	3,342	60	4,423	2,511	1,341	57.1%	52	4.3%	48
西濃	1,613	1,338	229	2,115	594	515	69.3%	57	30.8%	59
中濃	1,042	982	50	2,120	1,003	412	49.5%	49	10.8%	51
東濃	1,805	1,627	113	1,121	270	254	85.8%	64	30.8%	59
飛騨	1,216	1,078	126	544	35	55	96.9%	68	69.6%	76
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 21-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
岐阜県	30,504	1.1%	1,501	43	17,940	1.8%	883	53
岐阜	16,284	53%	2,036	48	8,040	45%	1,005	57
西濃	5,136	17%	1,379	42	3,108	17%	835	51
中濃	3,696	12%	989	38	2,772	15%	742	48
東濃	3,792	12%	1,125	39	2,964	17%	880	53
飛騨	1,596	5%	1,071	39	1,056	6%	708	47
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 21-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
岐阜県	4,756	1.4%	234	46	2,775	1.3%	137	45	1,981	1.5%	97	48
岐阜	2,314	49%	289	52	1,416	51%	177	51	898	45%	112	53
西濃	686	14%	184	40	374	13%	100	39	312	16%	84	44
中濃	703	15%	188	41	392	14%	105	40	311	16%	83	44
東濃	738	16%	219	44	430	15%	128	44	308	16%	91	46
飛騨	316	7%	212	43	164	6%	110	41	152	8%	102	50
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 21-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
岐阜県	220	1.4%	10.8	48	182	1.5%	9.0	48	141	1.4%	6.9	47
岐阜	144	65%	18.0	59	110	60%	13.8	59	79	56%	9.9	54
西濃	24	11%	6.4	41	21	12%	5.6	41	20	14%	5.4	42
中濃	21	10%	5.6	40	17	9%	4.5	38	17	12%	4.5	40
東濃	19	9%	5.6	40	24	13%	7.1	44	17	12%	5.0	41
飛騨	12	5%	8.0	43	10	5%	6.7	43	8	6%	5.4	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 21-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
岐阜県	84	1.6%	4.1	50	136	1.4%	6.7	48	117	1.6%	5.8	50
岐阜	48	57%	6.0	59	74	54%	9.3	56	69	59%	8.6	61
西濃	10	12%	2.7	43	21	15%	5.6	44	14	12%	3.8	42
中濃	9	11%	2.4	42	15	11%	4.0	39	13	11%	3.5	41
東濃	11	13%	3.3	46	19	14%	5.6	44	16	14%	4.7	46
飛騨	6	7%	4.0	49	7	5%	4.7	41	5	4%	3.4	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 21-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科専門医数				外科専門医数				整形外科専門医数			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
岐阜県	96	1.2%	4.7	45	266	1.3%	13.1	46	219	1.4%	10.8	47
岐阜	48	50%	6.0	48	127	48%	15.9	50	111	51%	13.9	54
西濃	13	14%	3.5	41	42	16%	11.3	43	34	16%	9.1	43
中濃	7	7%	1.9	37	43	16%	11.5	43	33	15%	8.8	43
東濃	17	18%	5.0	46	34	13%	10.1	41	28	13%	8.3	41
飛騨	11	11%	7.4	52	20	8%	13.4	46	13	6%	8.7	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 21-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
岐阜県	79	1.4%	3.9	47	96	1.5%	4.7	49	45	0.8%	2.2	43
岐阜	44	56%	5.5	55	51	53%	6.4	56	34	76%	4.3	50
西濃	9	11%	2.4	40	7	7%	1.9	37	1	2%	0.3	37
中濃	11	14%	2.9	42	16	17%	4.3	47	6	13%	1.6	41
東濃	11	14%	3.3	44	12	13%	3.6	44	4	9%	1.2	40
飛騨	4	5%	2.7	41	10	10%	6.7	57	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 21-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
岐阜県	73	1.1%	3.6	45	25	1.6%	1.2	50	51	1.5%	2.5	50
岐阜	54	74%	6.8	55	15	60%	1.9	57	30	59%	3.8	57
西濃	5	7%	1.3	37	1	4%	0.3	40	3	6%	0.8	40
中濃	5	7%	1.3	37	3	12%	0.8	45	11	22%	2.9	52
東濃	8	11%	2.4	41	5	20%	1.5	53	5	10%	1.5	44
飛騨	1	1%	0.7	35	1	4%	0.7	44	2	4%	1.3	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 21-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
岐阜県	14	0.7%	0.7	43	28	1.2%	1.4	46
岐阜	8	57%	1.0	45	14	50%	1.8	49
西濃	4	29%	1.1	46	8	29%	2.1	52
中濃	1	7%	0.3	39	3	11%	0.8	42
東濃	1	7%	0.3	39	2	7%	0.6	40
飛騨	0	0%	0	37	1	4%	0.7	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 21-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
岐阜県	16,177	1.5%	796	47	12,702	1.4%	625	46	3,476	1.8%	171	52
岐阜	7,268	45%	909	51	5,581	44%	698	49	1,688	49%	211	58
西濃	2,579	16%	693	44	2,088	16%	561	43	491	14%	132	47
中濃	2,504	15%	670	43	2,007	16%	537	42	497	14%	133	47
東濃	2,462	15%	731	45	1,910	15%	567	44	552	16%	164	51
飛騨	1,365	8%	915	51	1,117	9%	749	51	248	7%	166	52
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 21-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
岐阜県	1,502	1.2%	74	45	3,811	1.3%	188	46
岐阜	750	50%	94	49	1,983	52%	248	52
西濃	198	13%	53	41	530	14%	142	41
中濃	255	17%	68	44	487	13%	130	39
東濃	194	13%	58	42	567	15%	168	44
飛騨	105	7%	70	45	244	6%	164	43
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 21-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
岐阜県	249	1.9%	0.9	52	16	1.3%	0.1	47	177	1.7%	0.6	50
岐阜	133	53%	1.4	63	9	56%	0.1	53	80	45%	0.8	59
西濃	32	13%	0.7	46	0	0%	0	38	23	13%	0.5	41
中濃	45	18%	0.9	51	4	25%	0.1	50	29	16%	0.6	46
東濃	25	10%	0.5	42	2	13%	0.0	44	33	19%	0.7	50
飛騨	14	6%	0.5	43	1	6%	0.0	44	12	7%	0.4	40
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 21-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
岐阜県	25,886	1.5%	94	44	17,456	1.8%	63	51	8,430	1.2%	31	43
岐阜	9,512	37%	97	46	6,020	34%	62	50	3,492	41%	36	46
西濃	4,681	18%	96	46	3,472	20%	71	58	1,209	14%	25	39
中濃	4,625	18%	89	41	3,295	19%	64	52	1,330	16%	26	40
東濃	4,675	18%	92	43	2,971	17%	59	48	1,704	20%	34	45
飛騨	2,393	9%	90	42	1,698	10%	64	52	695	8%	26	40
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 21-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
岐阜県	6,796	1.9%	25	54	10,111	1.8%	37	52	549	0.8%	2.0	45
岐阜	2,429	36%	25	54	3,280	32%	34	49	311	57%	3.2	48
西濃	1,229	18%	25	55	2,199	22%	45	61	44	8%	0.9	42
中濃	1,296	19%	25	54	1,974	20%	38	53	25	5%	0.5	41
東濃	1,155	17%	23	50	1,759	17%	35	50	57	10%	1.1	43
飛騨	687	10%	26	55	899	9%	34	49	112	20%	4.2	50
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
岐阜県	1,132	0.5%	4.1	41	373	1.6%	1.4	50	4,116	2.1%	14.9	55
岐阜	334	30%	3.4	40	79	21%	0.8	47	1,685	41%	17.2	59
西濃	115	10%	2.4	39	50	13%	1.0	48	849	21%	17.5	59
中濃	289	26%	5.6	42	30	8%	0.6	46	679	16%	13.1	52
東濃	347	31%	6.8	43	164	44%	3.2	59	690	17%	13.6	53
飛騨	47	4%	1.8	38	50	13%	1.9	52	213	5%	8.0	43
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岐阜県	2,809	1.2%	10.2	44	65	0.4%	0.2	46	2,744	1.3%	10.0	45
岐阜	1,394	50%	14.3	50	0	0%	0	44	1,394	51%	14.3	51
西濃	195	7%	4.0	35	0	0%	0	44	195	7%	4.0	36
中濃	332	12%	6.4	39	35	54%	0.7	48	297	11%	5.7	38
東濃	503	18%	9.9	44	30	46%	0.6	48	473	17%	9.3	44
飛騨	385	14%	14.4	50	0	0%	0	44	385	14%	14.4	51
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 21-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岐阜県	2,611	1.6%	9.5	47	1,837	1.5%	6.7	46	775	1.7%	2.8	49
岐阜	955	37%	9.8	48	616	34%	6.3	45	339	44%	3.5	56
西濃	421	16%	8.7	43	317	17%	6.5	46	104	13%	2.1	42
中濃	457	18%	8.8	44	356	19%	6.9	47	101	13%	2.0	41
東濃	478	18%	9.4	46	333	18%	6.6	46	145	19%	2.9	50
飛騨	300	11%	11.2	54	216	12%	8.1	53	84	11%	3.2	53
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岐阜県	23,333	1.6%	85	45	20,709	1.7%	75	49	2,623	1.2%	9.5	42
岐阜	8,516	37%	87	47	7,339	35%	75	49	1,177	45%	12.1	47
西濃	4,421	19%	91	50	3,992	19%	82	55	429	16%	8.8	41
中濃	4,091	18%	79	41	3,709	18%	72	46	383	15%	7.4	38
東濃	4,100	18%	81	42	3,671	18%	72	46	429	16%	8.5	40
飛騨	2,204	9%	82	44	1,999	10%	75	49	205	8%	7.7	39
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
岐阜県	16,706	1.6%	61	48	7,369	1.6%	27	49	17,797	1.2%	65	42
岐阜	8,391	50%	86	56	2,526	34%	26	48	7,342	41%	75	45
西濃	2,058	12%	42	42	1,237	17%	25	48	2,400	13%	49	37
中濃	2,361	14%	46	43	1,070	15%	21	44	2,327	13%	45	35
東濃	2,935	18%	58	47	1,606	22%	32	53	4,208	24%	83	47
飛騨	961	6%	36	40	930	13%	35	56	1,520	9%	57	39
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
岐阜県		2,107,226	2,031,903	-4%	1,907,818	-9%	9%	3%	12%
岐阜	地方都市型	802,218	799,766	0%	765,662	-5%	13%	4%	18%
西濃	地方都市型	391,637	372,399	-5%	350,130	-11%	8%	3%	11%
中濃	地方都市型	388,877	373,712	-4%	352,118	-9%	8%	5%	13%
東濃	地方都市型	358,884	336,954	-6%	306,542	-15%	7%	1%	8%
飛騨	過疎地域型	165,610	149,072	-10%	133,366	-19%	2%	-2%	0%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 21-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
岐阜県	112	5.3	45	102	5.0	46	-10	-9%	92
岐阜	46	5.7	46	42	5.3	47	-4	-9%	38
西濃	17	4.3	43	17	4.6	45	0	0%	17
中濃	22	5.7	46	18	4.8	45	-4	-18%	14
東濃	15	4.2	42	15	4.5	45	0	0%	15
飛騨	12	7.2	50	10	6.7	50	-2	-17%	8
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 21-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
岐阜県	1,467	70	47	1,579	78	49	112	8%	1,703
岐阜	622	78	51	681	85	53	59	9%	746
西濃	265	68	46	260	70	45	-5	-2%	255
中濃	217	56	40	258	69	45	41	19%	303
東濃	227	63	44	245	73	47	18	8%	265
飛騨	136	82	53	135	91	56	-1	-1%	134
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 21-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
岐阜県	3,614	172	45	4,262	210	46	648	18%	4,976
岐阜	1,784	222	51	2,212	277	53	428	24%	2,683
西濃	569	145	42	618	166	42	49	9%	672
中濃	486	125	40	565	151	40	79	16%	652
東濃	489	136	41	596	177	43	107	22%	714
飛騨	286	173	45	271	182	43	-15	-5%	255
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 21-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
岐阜県	23,642	112	45	22,533	111	46	-1,109	-5%	21,313
岐阜	10,013	125	47	9,571	120	48	-442	-4%	9,085
西濃	4,152	106	44	4,159	112	46	7	0%	4,167
中濃	3,522	91	41	3,436	92	43	-86	-2%	3,341
東濃	3,577	100	42	3,437	102	45	-140	-4%	3,283
飛騨	2,378	144	50	1,930	129	50	-448	-19%	1,437
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 21-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
岐阜県	15,264	72	46	14,639	72	48	-625	-4%	13,951	73
岐阜	6,697	83	50	6,659	83	52	-38	-1%	6,617	86
西濃	2,529	65	43	2,281	61	44	-248	-10%	2,008	57
中濃	2,277	59	41	2,166	58	43	-111	-5%	2,044	58
東濃	2,337	65	43	2,328	69	47	-9	0%	2,318	76
飛騨	1,424	86	51	1,205	81	51	-219	-15%	964	72
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 21-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
岐阜県	3,778	19	42	3,661	13	43	-117	-3%	3,534	10
岐阜	1,754	26	47	1,584	16	46	-170	-10%	1,397	11
西濃	570	15	41	826	17	47	256	45%	1,108	17
中濃	530	13	39	555	11	41	25	5%	583	9
東濃	482	13	39	437	9	39	-45	-9%	388	6
飛騨	442	21	44	259	10	40	-183	-41%	58	2
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

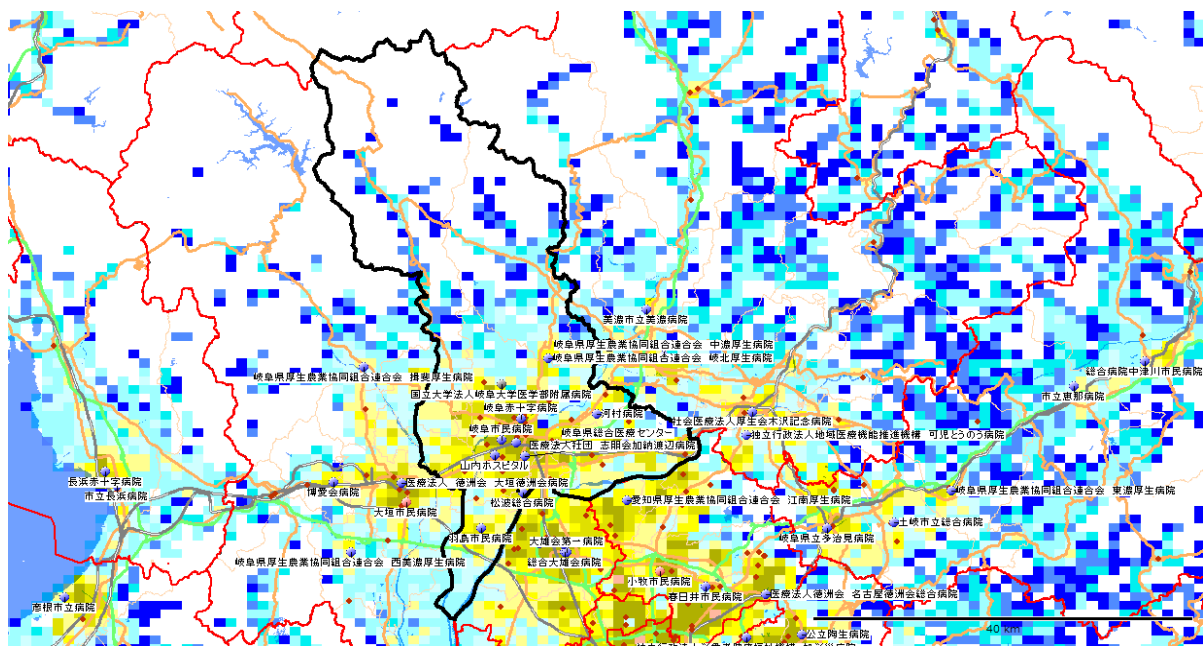
資_図表 21-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
岐阜県	862	44	0.930	391	43	0.856	439	49	1.002
岐阜	931	50	1.009	418	46	0.928	477	59	1.084
西濃	858	44	0.925	391	43	0.857	434	48	0.989
中濃	852	43	0.915	409	45	0.882	413	43	0.948
東濃	808	40	0.867	342	38	0.741	436	49	0.995
飛騨	738	34	0.797	348	39	0.755	366	32	0.845
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

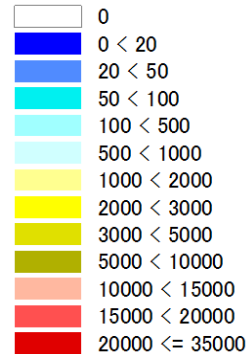
21-1. 岐阜医療圏

構成市区町村⁹ [岐阜市](#) [羽島市](#) [各務原市](#) [山口市](#)
[瑞穂市](#) [本巣市](#) [岐南町](#) [笠松町](#)
[北方町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(岐阜医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 岐阜(岐阜市)は、総人口約800千人(2015年)、面積993km²、人口密度は805人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 岐阜の総人口は2025年に766千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に685千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の98千人が、2025年にかけて132千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には128千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 岐阜の一人当たり医療費(国保)は348千円(偏差値51)、介護給付費は242千円(偏差値47)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 岐阜の一人当たり急性期医療密度指数²は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.69で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が52(病院医師数51、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。岐阜には、年間全身麻酔件数が2000例以上の岐阜大学医学部附属病院(I群・救命)、岐阜県総合医療センター(II群・救命)、1000例以上の松波総合病院(III群)、岐阜市民病院(II群)、500例以上の朝日大学歯学部附属村上記念病院(III群)、岐阜赤十字病院(III群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 岐阜の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9512人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が6020床(偏差値50)、高齢者住宅等が3492床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7339人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム40、軽費ホーム47、グループホーム59、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値63と多く、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、1177人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-32%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(岐阜医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

岐阜医療圏の総人口は、2005年802218人が、2015年に799766人と1%未満減少し、2025年の人口が765662人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

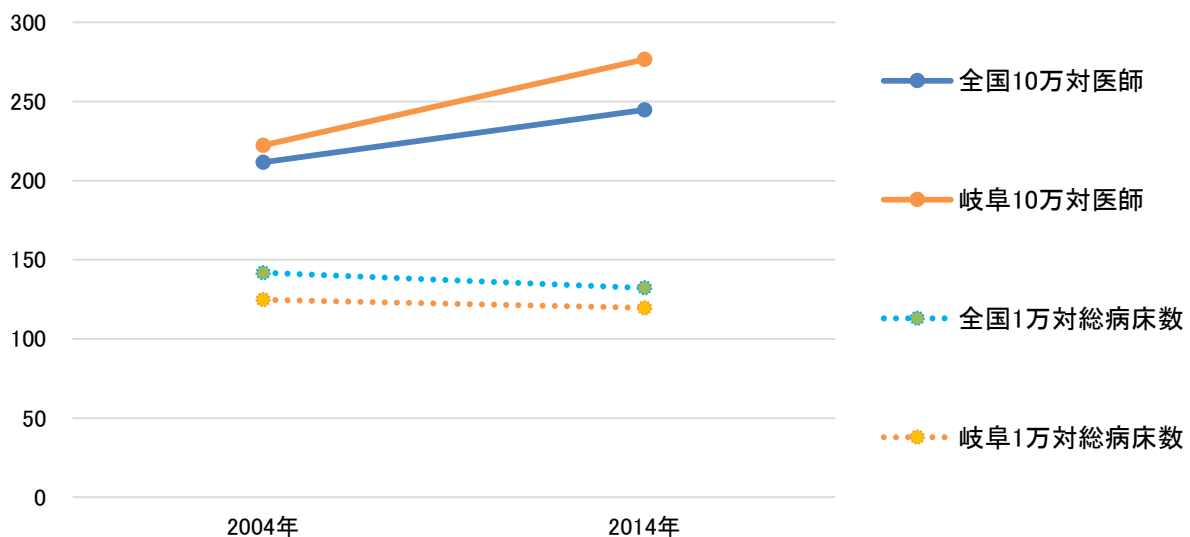
2004年の病院数が46(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に42(人口10万人当たり5.3病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が622(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に681(人口10万人当たり85診療所(全国平均79)偏差値53)と、59診療所が増加した。

2004年の総病床数が10013床(人口1万人当たり125(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に9571床(人口1万人当たり120(全国平均132)偏差値48)と、442床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

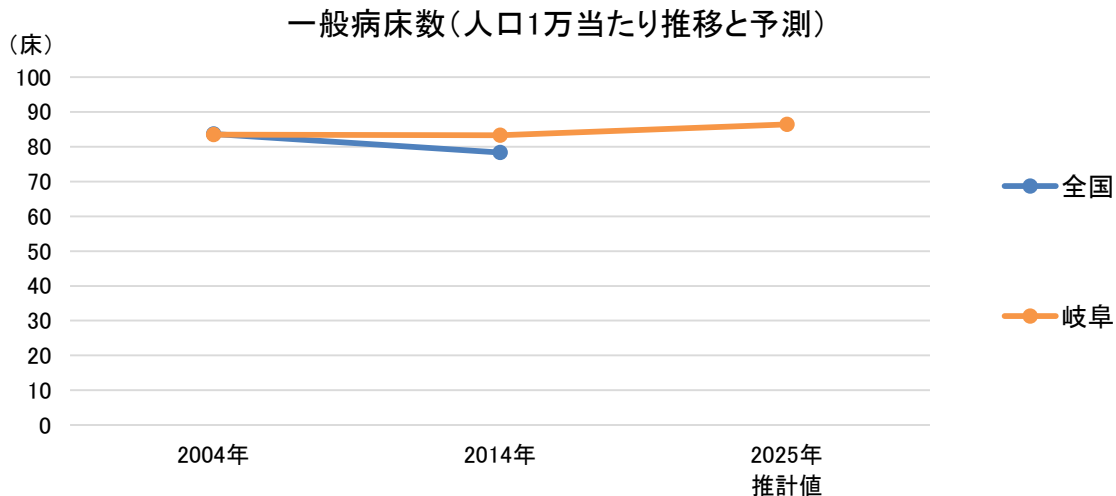
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1784人(人口10万人当たり222人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に2212人(人口10万人当たり277人(全国平均245人)偏差値53)と、428人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



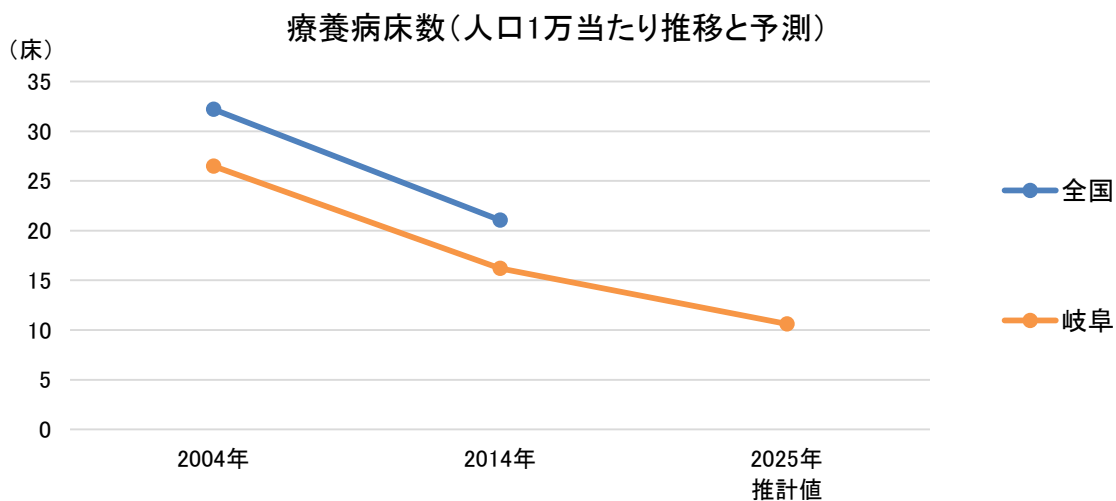
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6697床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に6659床(人口1万人当たり83(全国平均78)偏差値52)と、38床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6617床(2025年の推計人口1万人当たり86)になることが予想される。



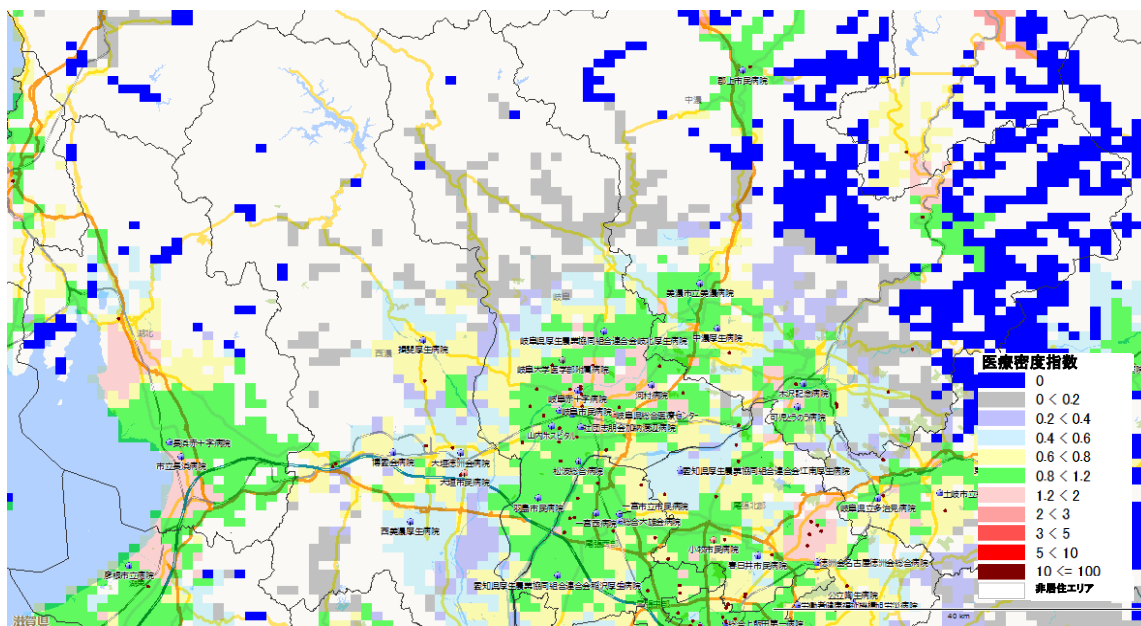
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1754床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に1584床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、170床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1397床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。



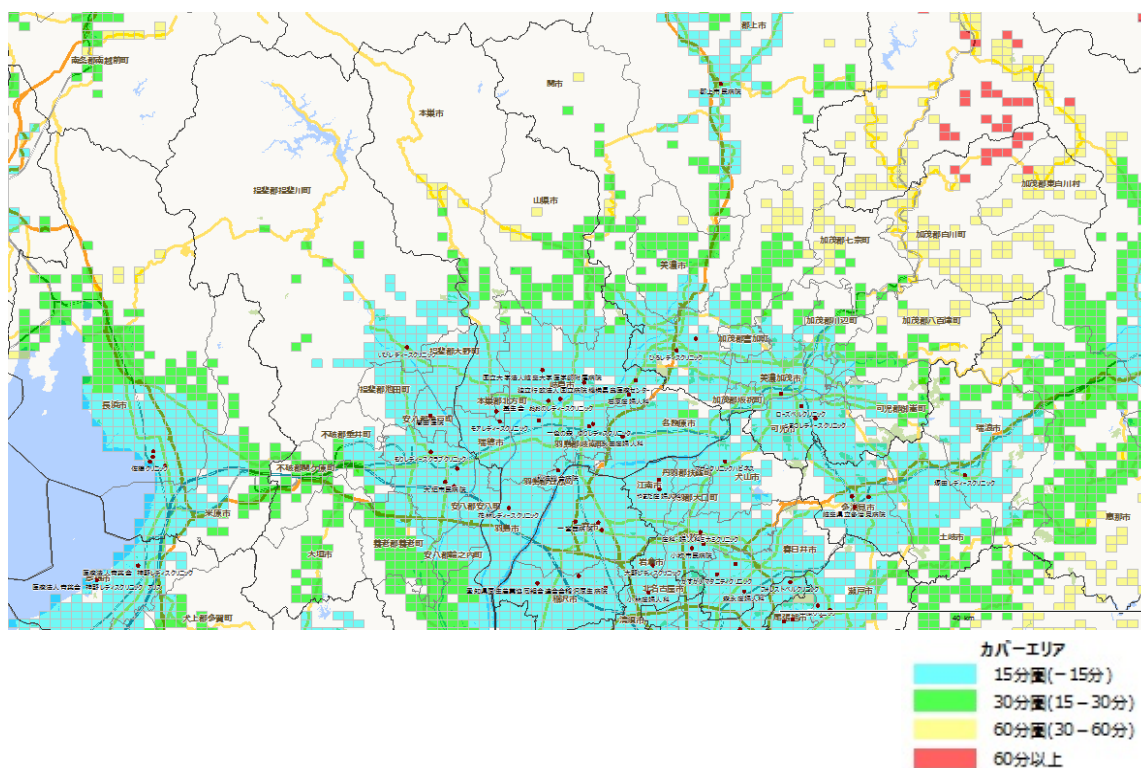
(岐阜医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表21-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

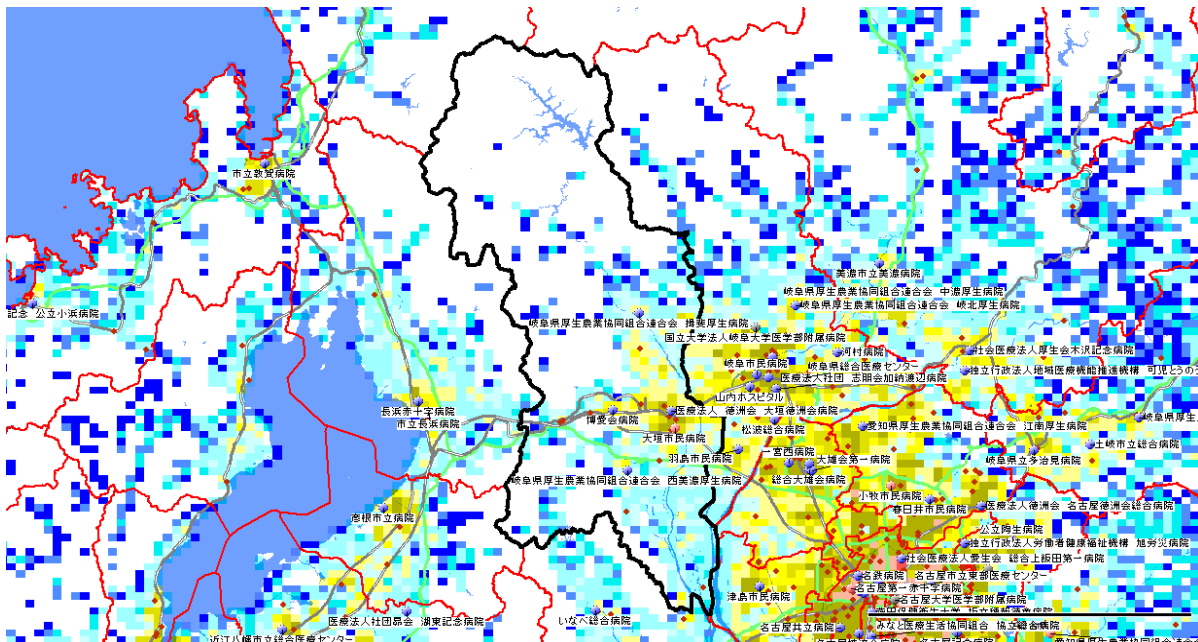


21-2. せいのう 西濃医療圏

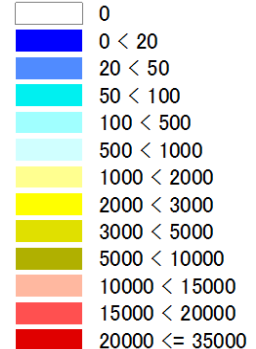
構成市区町村⁹

大垣市	海津市	養老町	垂井町
関ヶ原町	神戸町	輪之内町	安八町
揖斐川町	大野町	池田町	

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(西濃医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西濃(大垣市)は、総人口約372千人(2015年)、面積1433km²、人口密度は260人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西濃の総人口は2025年に350千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に303千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の49千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には63千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西濃の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値52)、介護給付費は255千円(偏差値51)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西濃の一人当たり急性期医療密度指数²は0.53、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.52で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数39、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。西濃には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大垣市民病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西濃の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4681人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3472床(偏差値58)、高齢者住宅等が1209床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3992人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム39、軽費ホーム48、グループホーム59、サ高住35である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、429人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(西濃医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西濃医療圏の総人口は、2005年391637人が、2015年に372399人と5%減少し、2025年の人口が350130人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

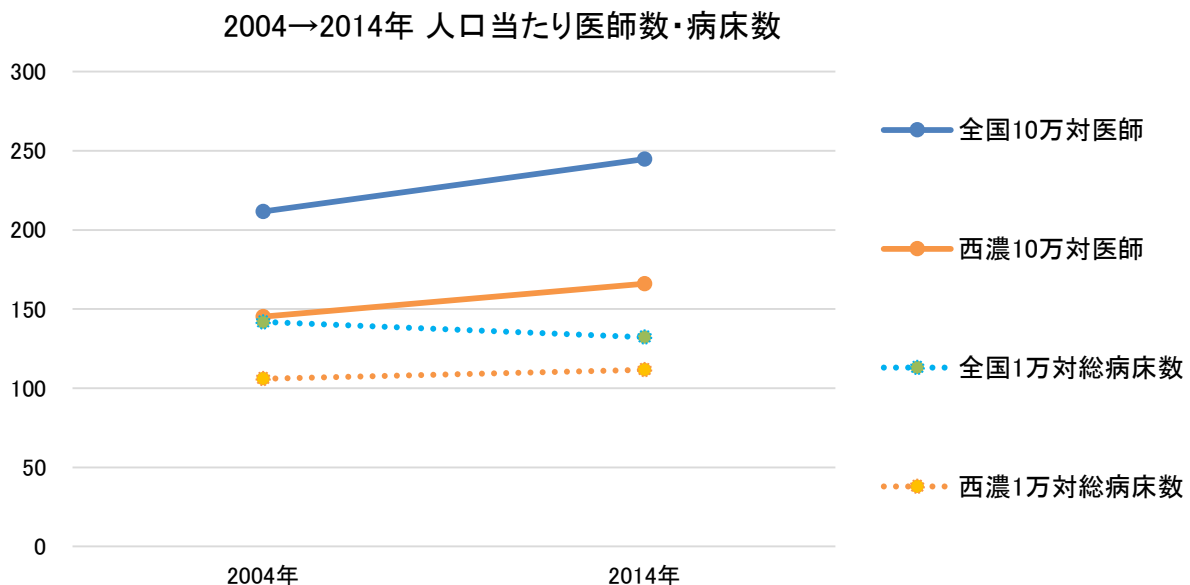
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が17(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に17(人口10万人当たり4.6病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が265(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に260(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、5診療所が減少した。

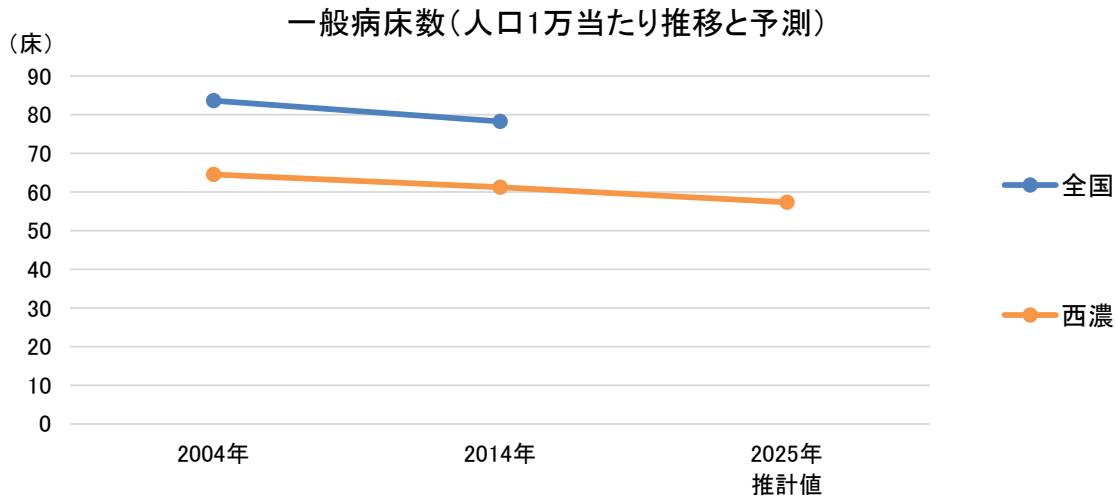
2004年の総病床数が4152床(人口1万人当たり106(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に4159床(人口1万人当たり112(全国平均132)偏差値46)と、7床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が569人(人口10万人当たり145人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に618人(人口10万人当たり166人(全国平均245人)偏差値42)と、49人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



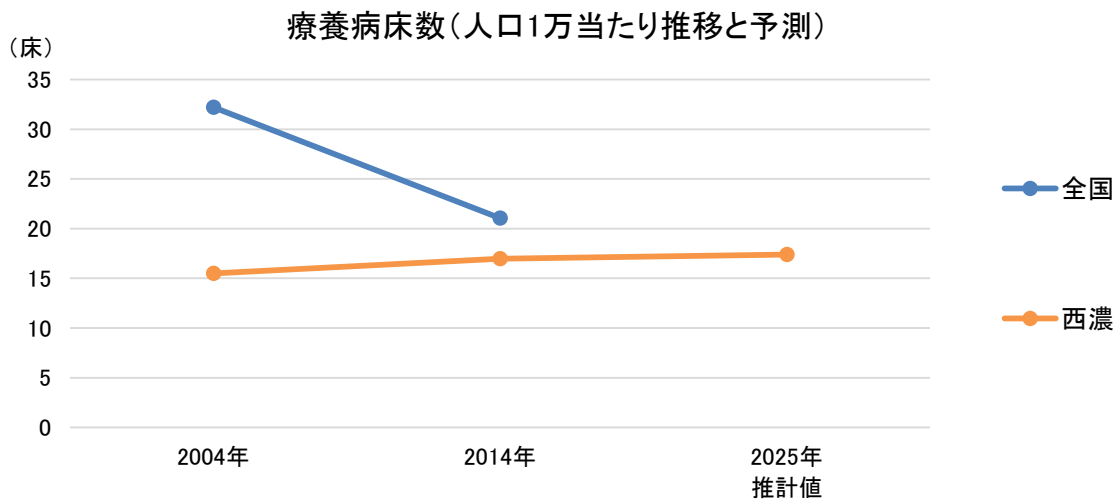
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2529床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に2281床(人口1万人当たり61(全国平均78)偏差値44)と、248床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2008床(2025年の推計人口1万人当たり57)になることが予想される。



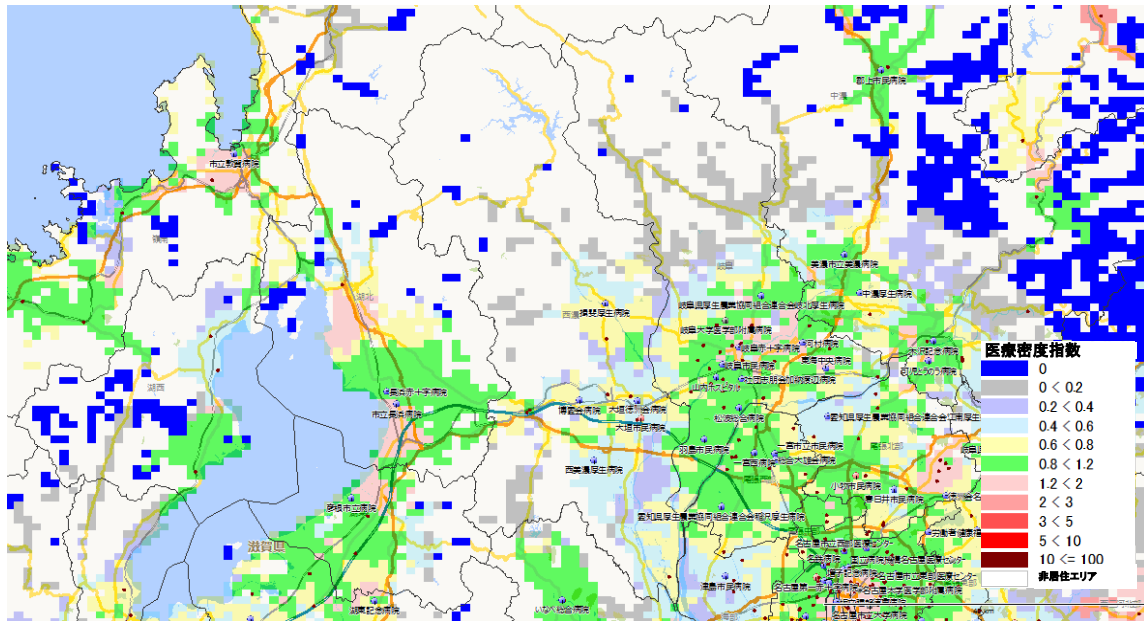
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が570床(75歳以上1000人当たり15(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に826床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値47)と、256床の増加、率にして45%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1108床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。



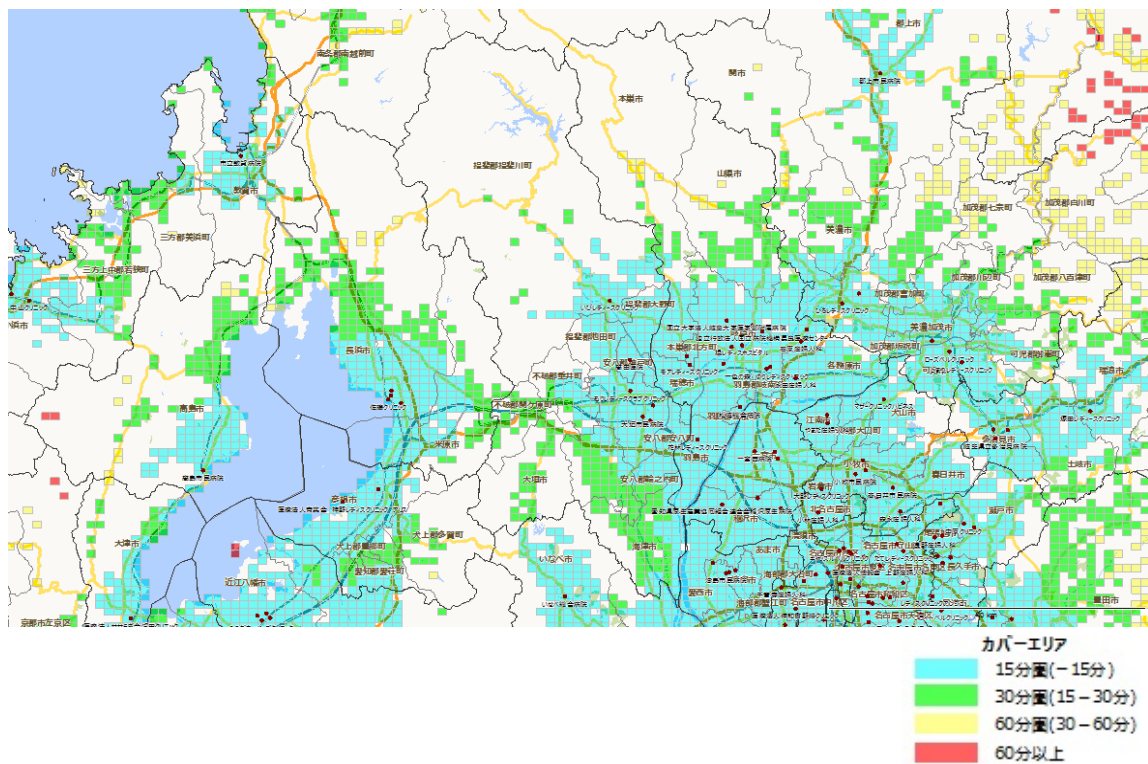
(西濃医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表21-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

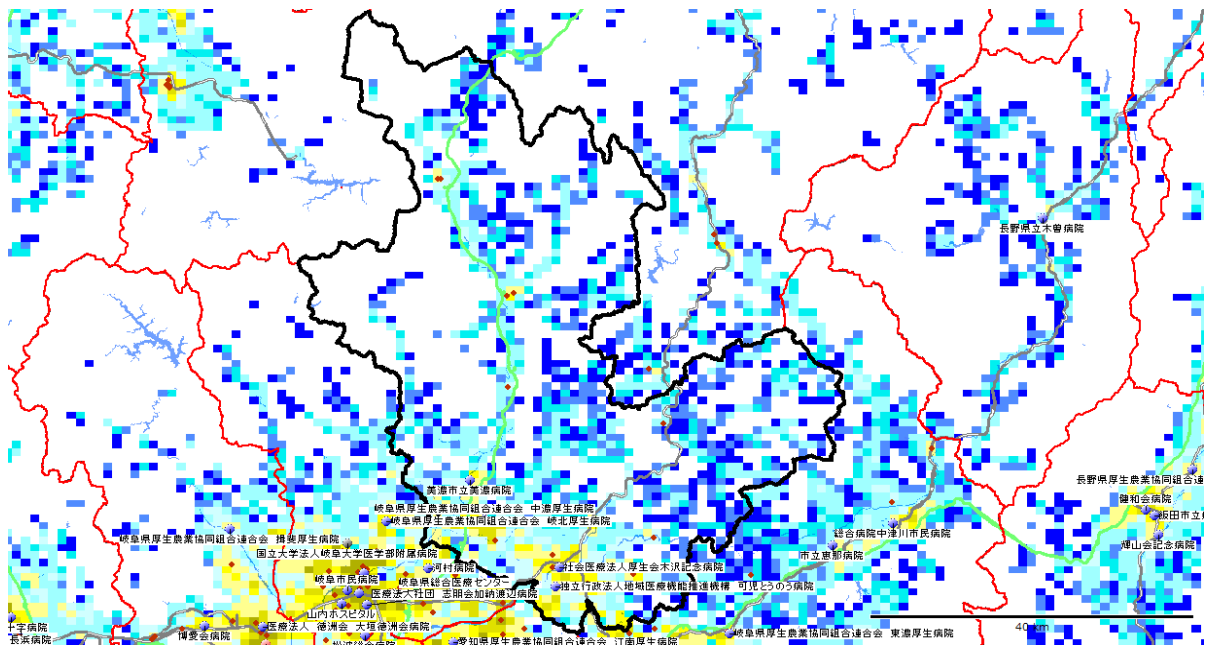


21-3. ちゅうのう 中濃医療圏

構成市区町村⁹

関市	美濃市	美濃加茂市	可児市
郡上市	坂祝町	富加町	川辺町
七宗町	八百津町	白川町	東白川村
御嵩町			

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(中濃医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中濃(関市)は、総人口約374千人(2015年)、面積2454km²、人口密度は152人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中濃の総人口は2025年に352千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に308千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の52千人が、2025年にかけて68千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には69千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中濃の一人当たり医療費(国保)は342千円(偏差値50)、介護給付費は230千円(偏差値44)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中濃の一人当たり急性期医療密度指数²は0.6、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.55で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数40、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。中濃には、年間全身麻酔件数が500例以上の木沢記念病院(Ⅲ群)、中濃厚生病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中濃の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4625人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3295床(偏差値52)、高齢者住宅等が1330床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3709人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム42、軽費ホーム46、グループホーム52、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、383人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-28%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(中濃医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中濃医療圏の総人口は、2005年388877人が、2015年に373712人と4%減少し、2025年の人口が352118人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

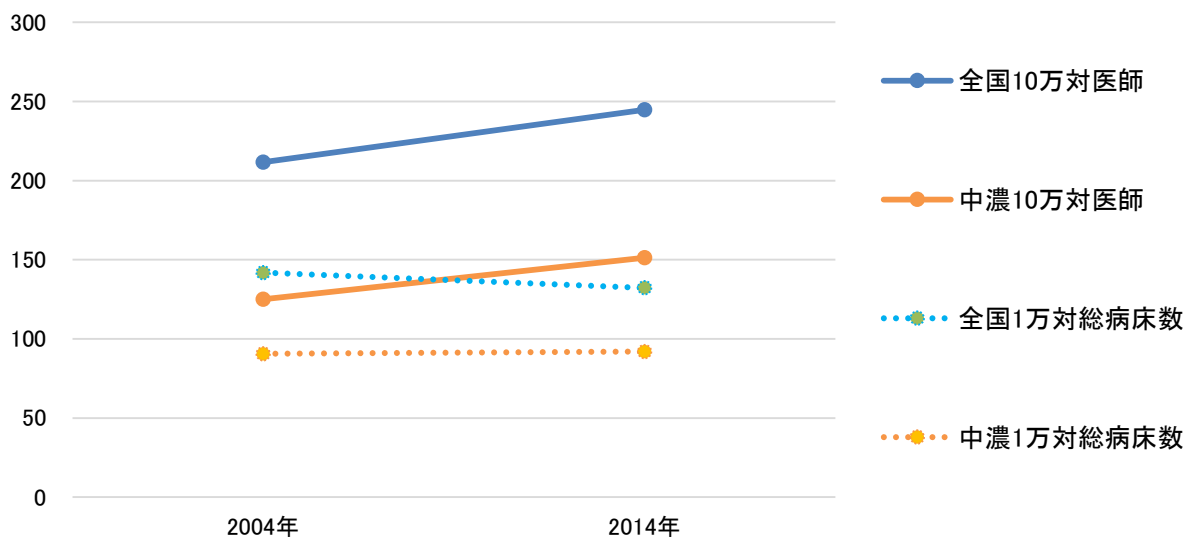
2004年の病院数が22(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に18(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が217(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に258(人口10万人当たり69診療所(全国平均79)偏差値45)と、41診療所が増加した。

2004年の総病床数が3522床(人口1万人当たり91(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に3436床(人口1万人当たり92(全国平均132)偏差値43)と、86床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

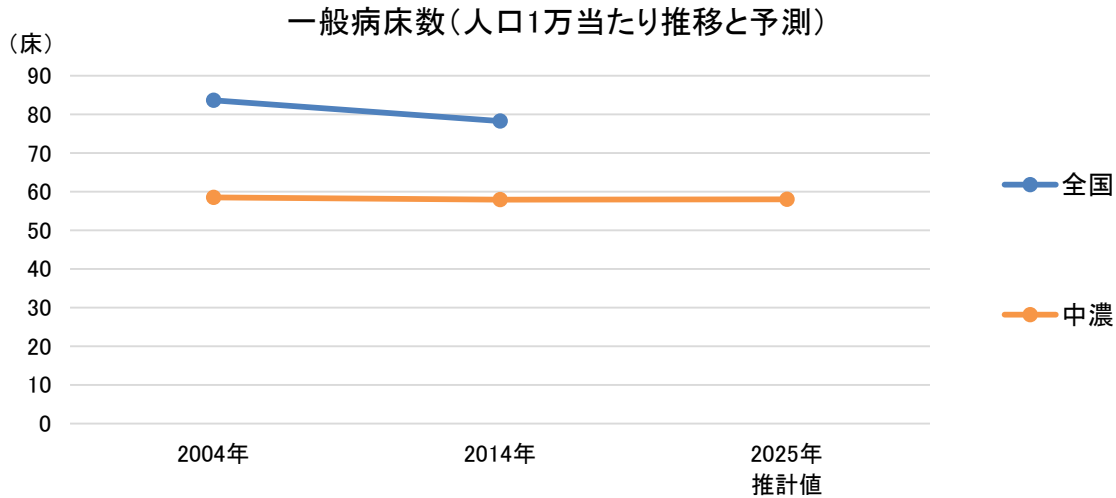
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が486人(人口10万人当たり125人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に565人(人口10万人当たり151人(全国平均245人)偏差値40)と、79人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



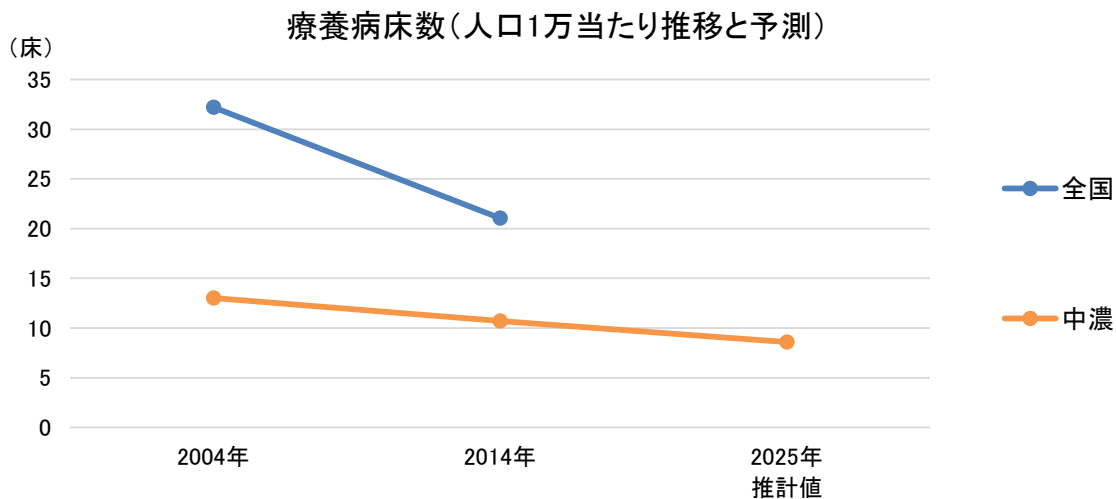
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2277床(人口1万人当たり59(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に2166床(人口1万人当たり58(全国平均78)偏差値43)と、111床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2044床(2025年の推計人口1万人当たり58)になることが予想される。



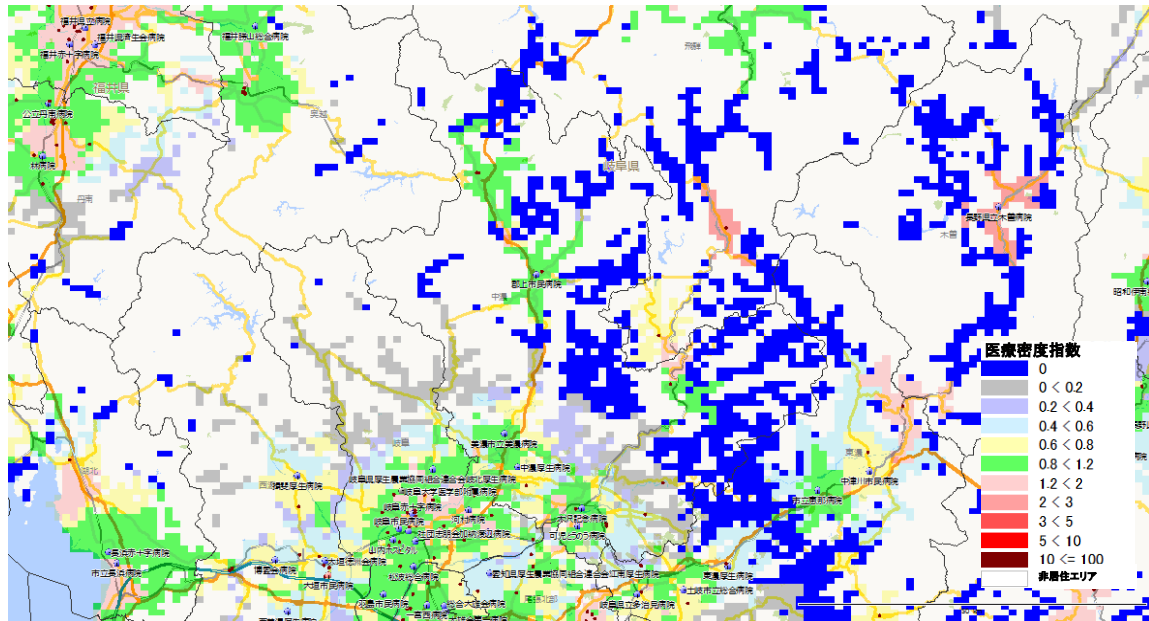
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が530床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に555床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値41)と、25床の増加、率にして5%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には583床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。



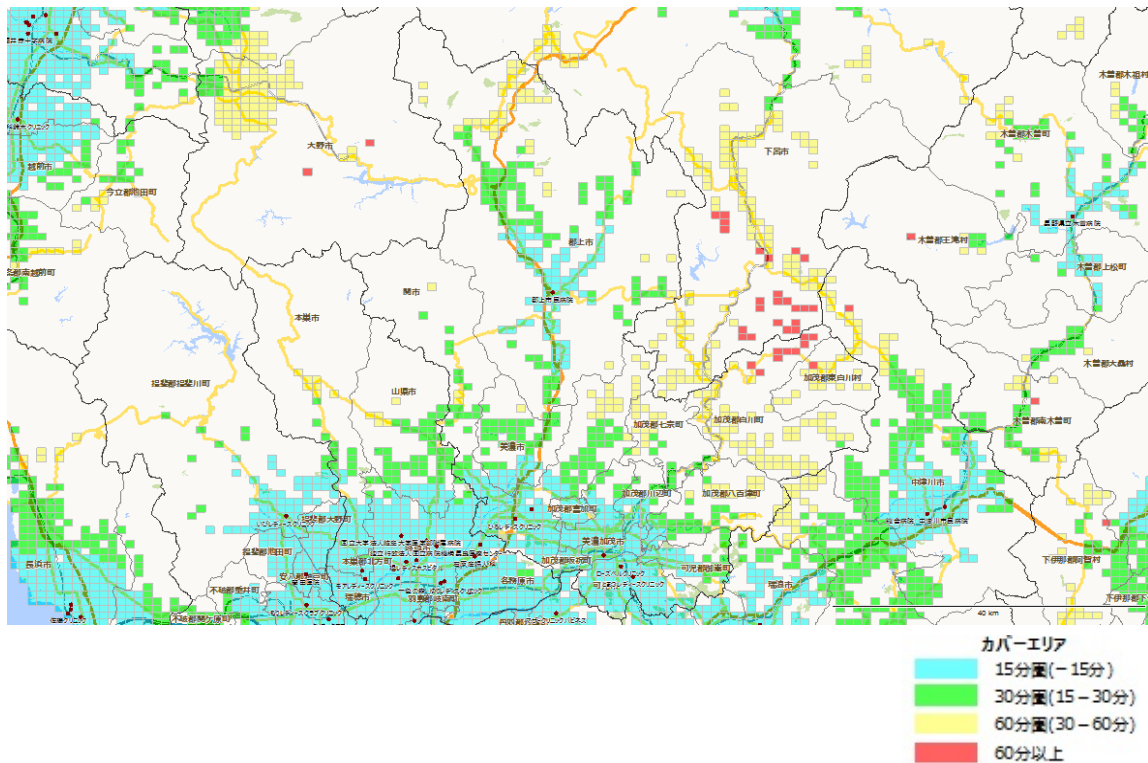
(中濃医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表21-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

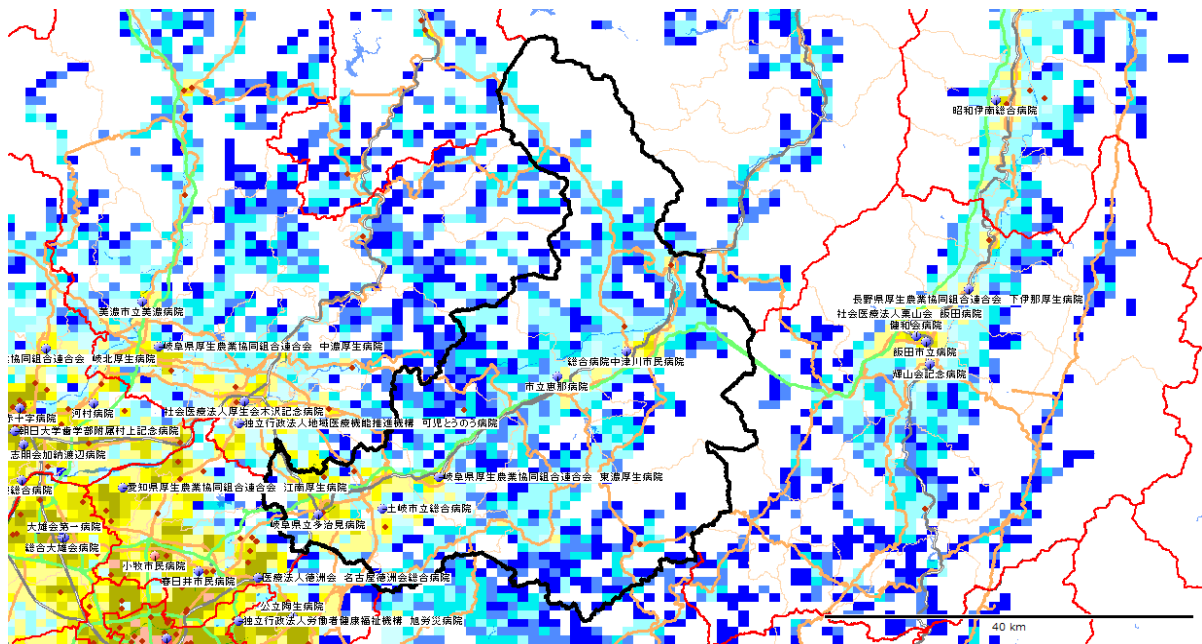
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



21-4. とうのう 東濃医療圏

構成市区町村⁹ [多治見市](#) [土岐市](#) [中津川市](#) [瑞浪市](#) [恵那市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(東濃医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東濃(多治見市)は、総人口約337千人(2015年)、面積1563km²、人口密度は216人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東濃の総人口は2025年に307千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に256千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の51千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には62千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東濃の一人当たり医療費(国保)は349千円(偏差値51)、介護給付費は249千円(偏差値49)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東濃の一人当たり急性期医療密度指数²は0.52、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.66で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。東濃には、年間全身麻酔件数が1000例以上の岐阜県立多治見病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の中津川市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東濃の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4675人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2971床(偏差値48)、高齢者住宅等が1704床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3671人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム43、軽費ホーム59、グループホーム53、サ高住44である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、429人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-24%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(東濃医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東濃医療圏の総人口は、2005年358884人が、2015年に336954人と6%減少し、2025年の人口が306542人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

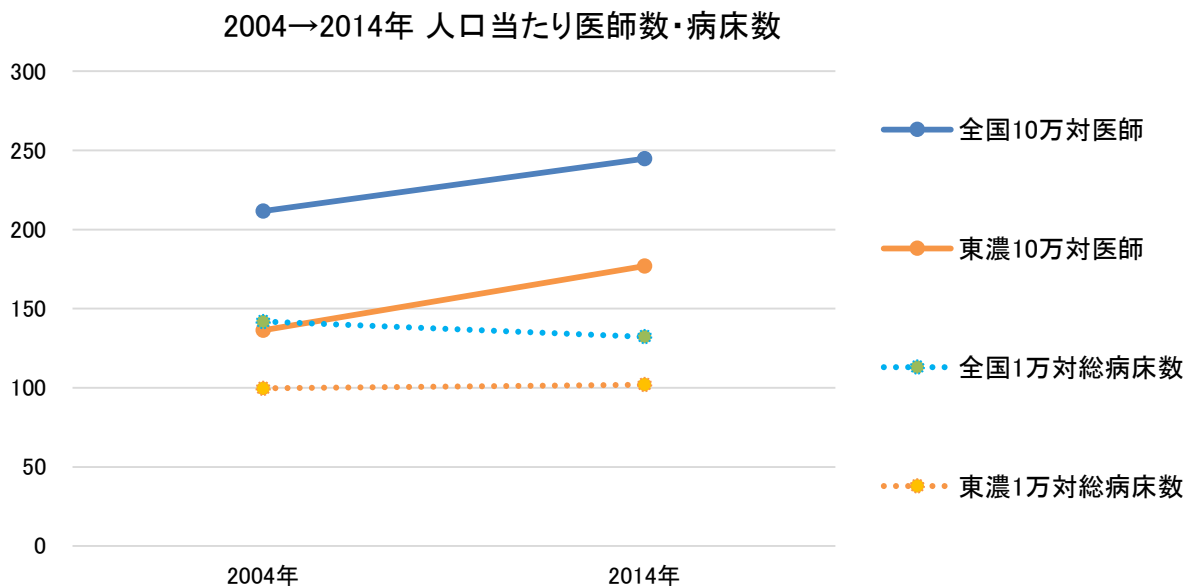
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が15(人口10万人当たり4.2病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に15(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が227(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に245(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、18診療所が増加した。

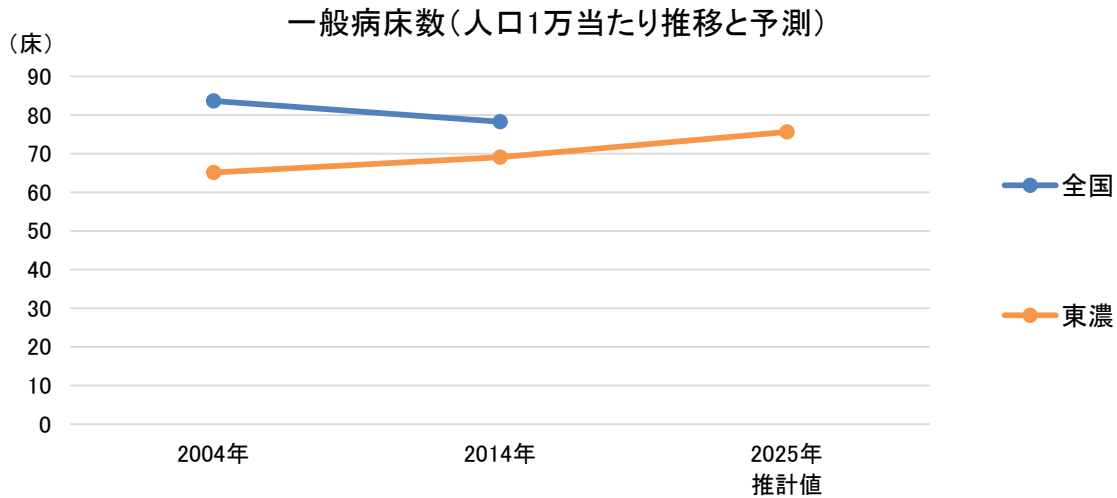
2004年の総病床数が3577床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に3437床(人口1万人当たり102(全国平均132)偏差値45)と、140床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が489人(人口10万人当たり136人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に596人(人口10万人当たり177人(全国平均245人)偏差値43)と、107人の増加、率にして22%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



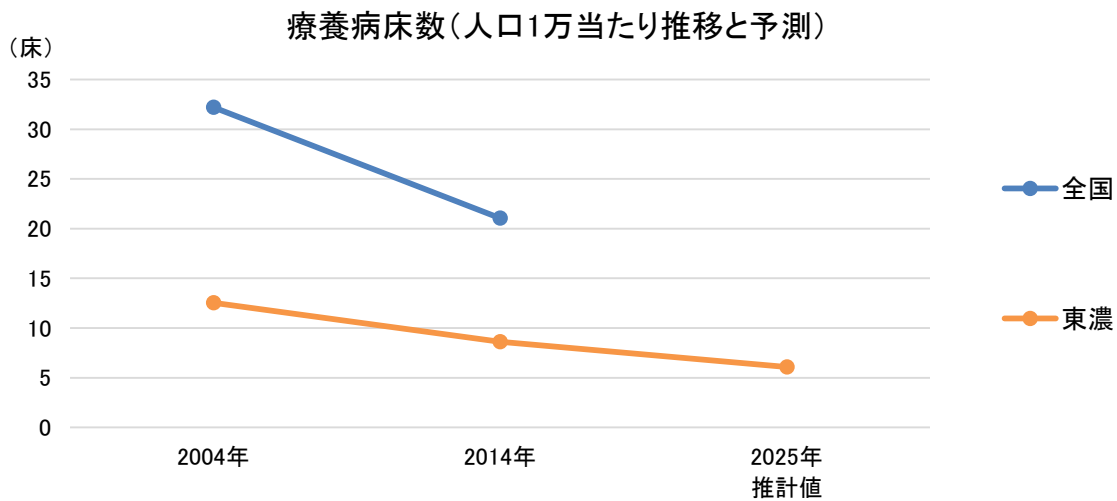
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2337床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に2328床(人口1万人当たり69(全国平均78)偏差値47)と、9床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2318床(2025年の推計人口1万人当たり76)になることが予想される。



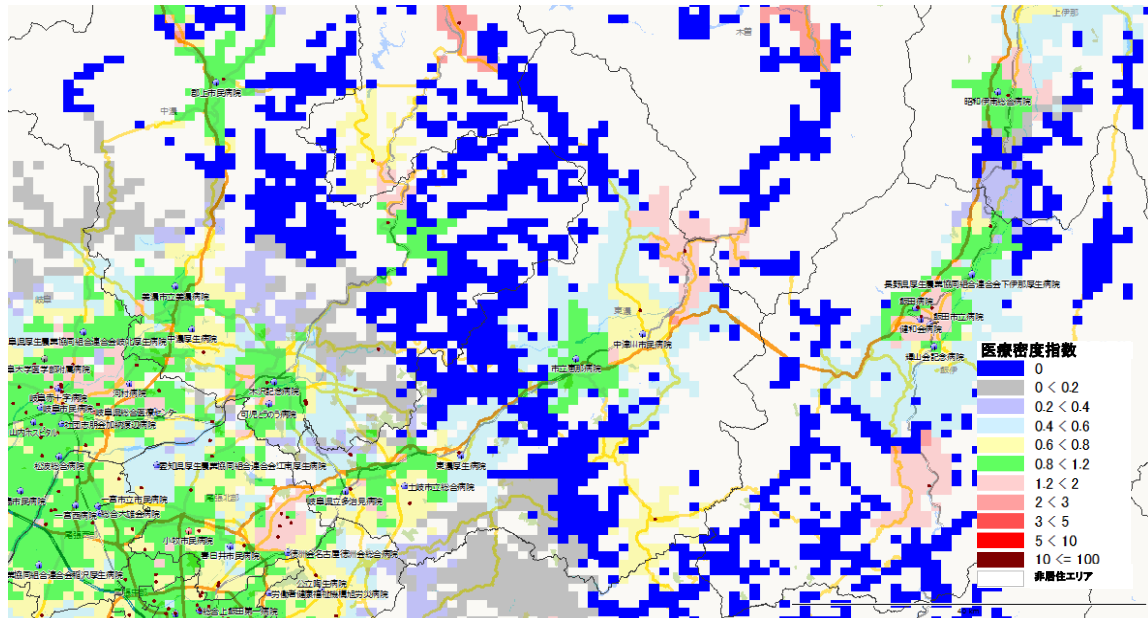
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が482床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に437床(75歳以上1000人当たり9(全国平均21)偏差値39)と、45床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には388床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。



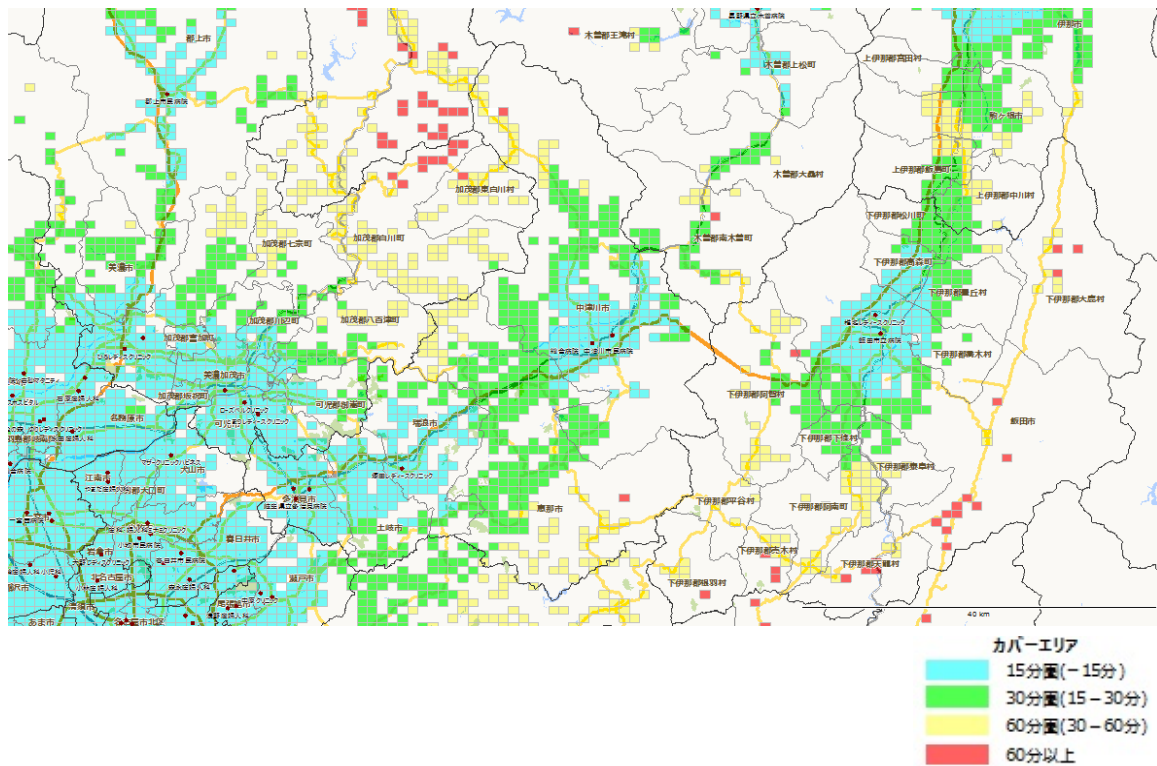
(東濃医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表21-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

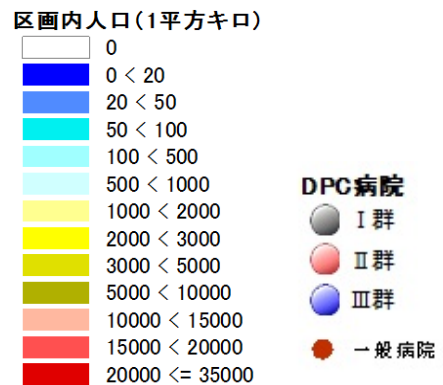
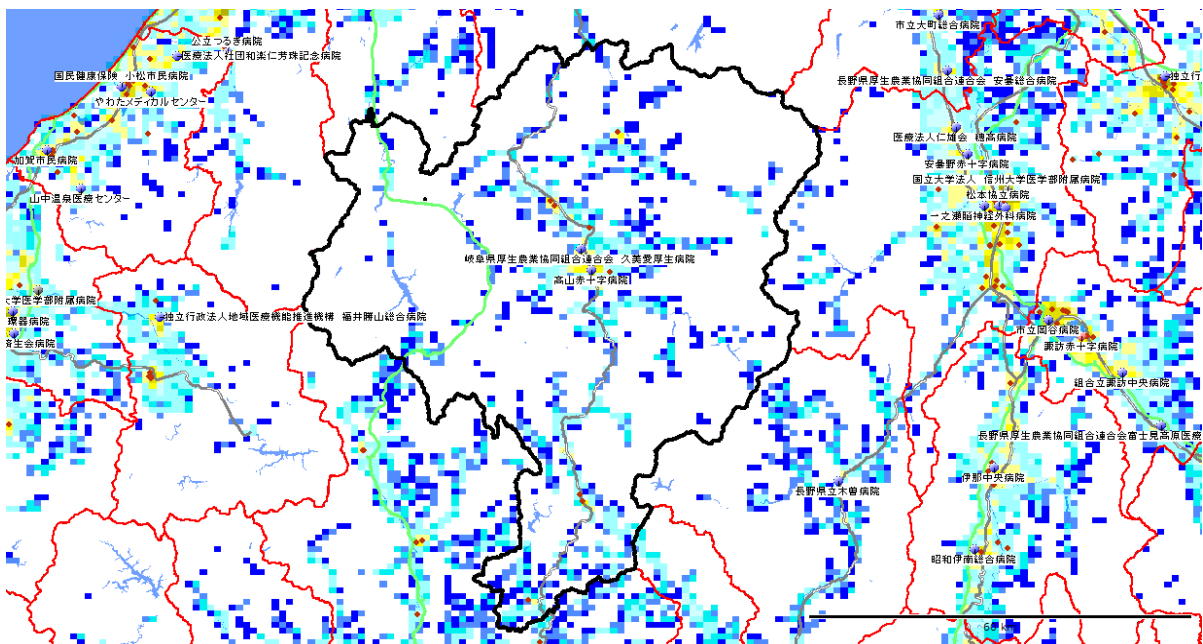
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



21-5. ひだ飛騨医療圏

構成市区町村⁹ [高山市](#) [飛騨市](#) [下呂市](#) [白川村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(飛騨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 飛騨(高山市)は、総人口約149千人(2015年)、面積4178km²、人口密度は36人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 飛騨の総人口は2025年に133千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に108千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 飛騨の一人当たり医療費(国保)は343千円(偏差値50)、介護給付費は269千円(偏差値54)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 飛騨の一人当たり急性期医療密度指数²は1、一人当たり慢性期医療密度指数²は3.49で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が43(病院医師数41、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。飛騨には、年間全身麻酔件数が500例以上の高山赤十字病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 飛騨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2393人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1698床(偏差値52)、高齢者住宅等が695床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1999人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム38、軽費ホーム52、グループホーム43、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、205人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-28%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(飛騨医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

飛騨医療圏の総人口は、2005年165610人が、2015年に149072人と10%減少し、2025年の人口が133366人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

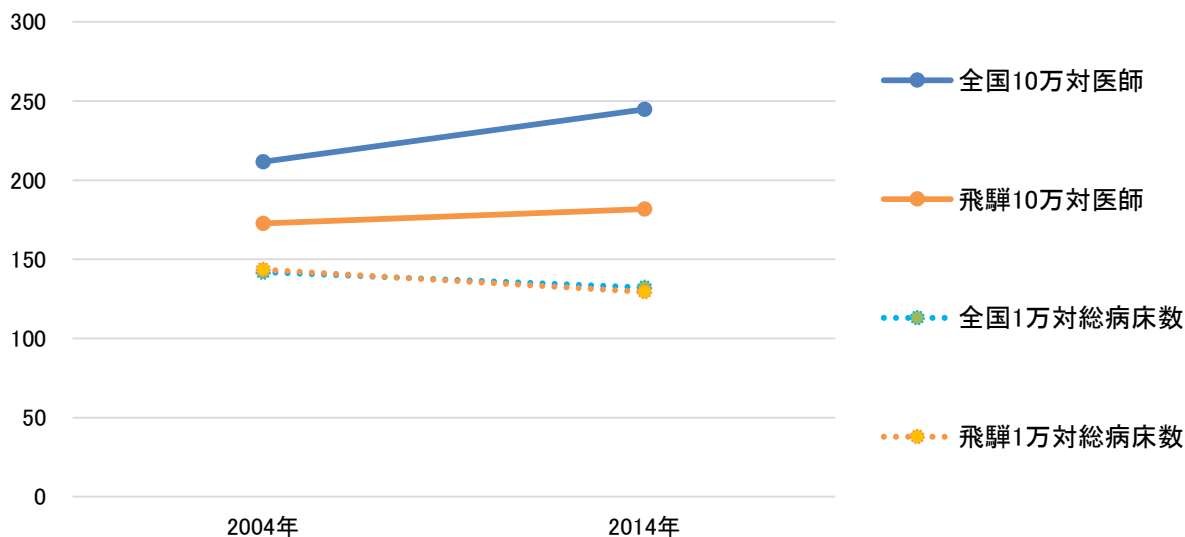
2004年の病院数が12(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に10(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が136(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に135(人口10万人当たり91診療所(全国平均79)偏差値56)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が2378床(人口1万人当たり144(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に1930床(人口1万人当たり129(全国平均132)偏差値50)と、448床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

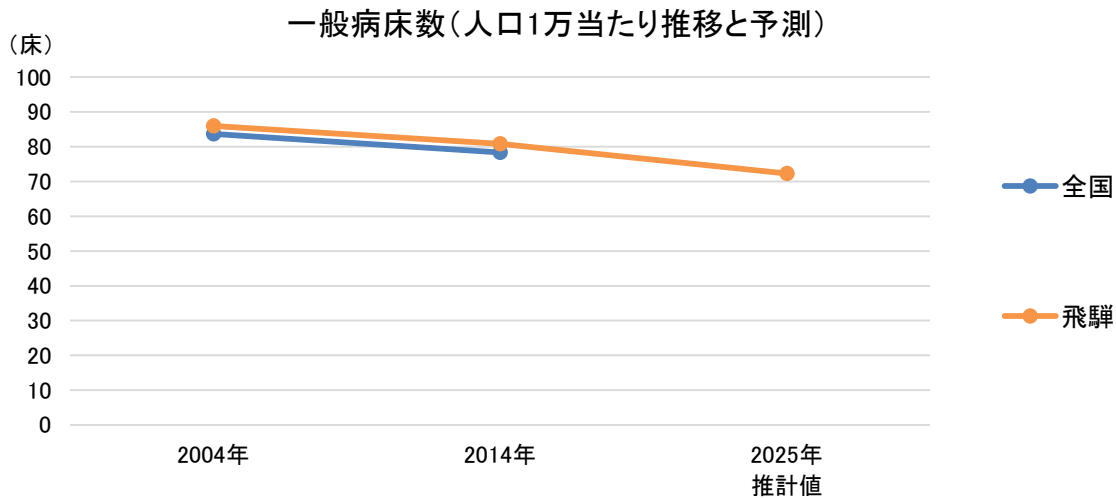
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が286人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に271人(人口10万人当たり182人(全国平均245人)偏差値43)と、15人の減少、率にして5%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



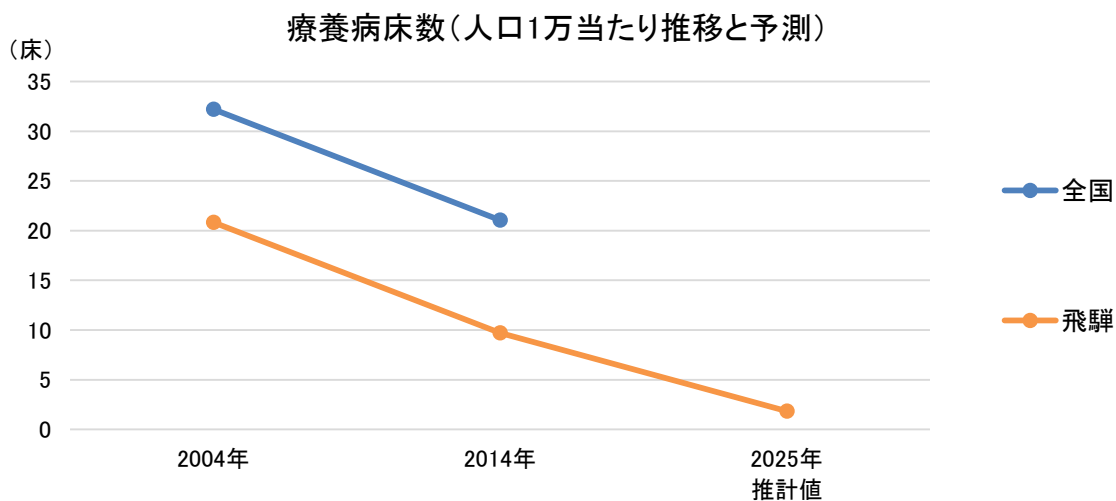
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1424床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に1205床(人口1万人当たり81(全国平均78)偏差値51)と、219床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には964床(2025年の推計人口1万人当たり72)になることが予想される。



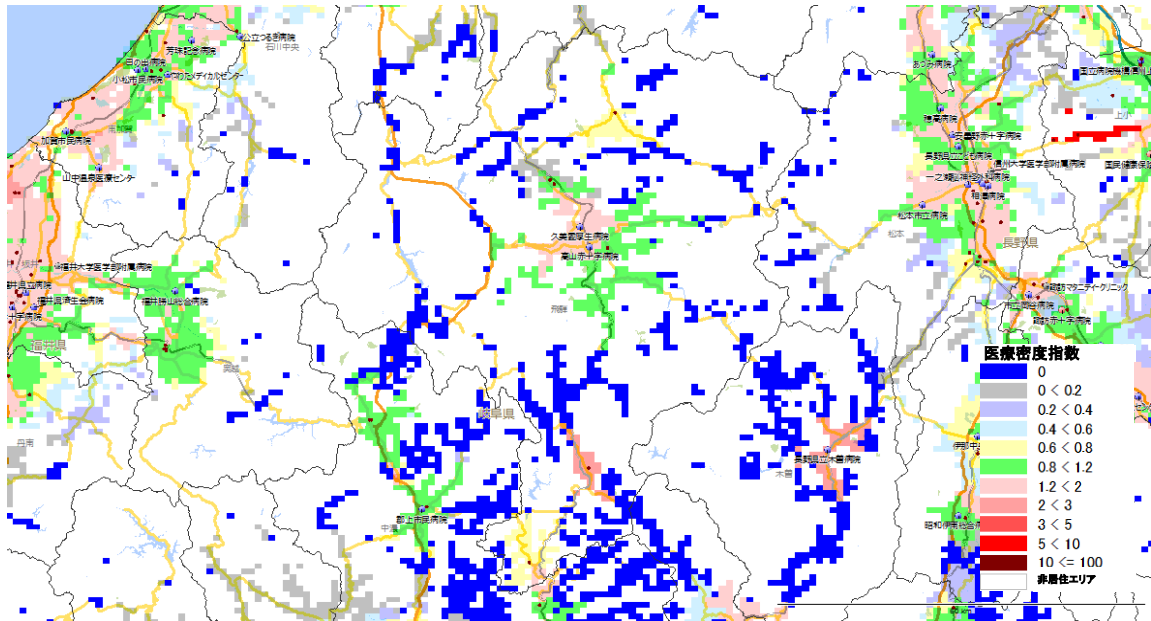
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が442床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2014年に259床(75歳以上1000人当たり10(全国平均21)偏差値40)と、183床の減少、率にして41%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には58床(2025年の推計75歳以上1000人当たり2)になることが予想される。



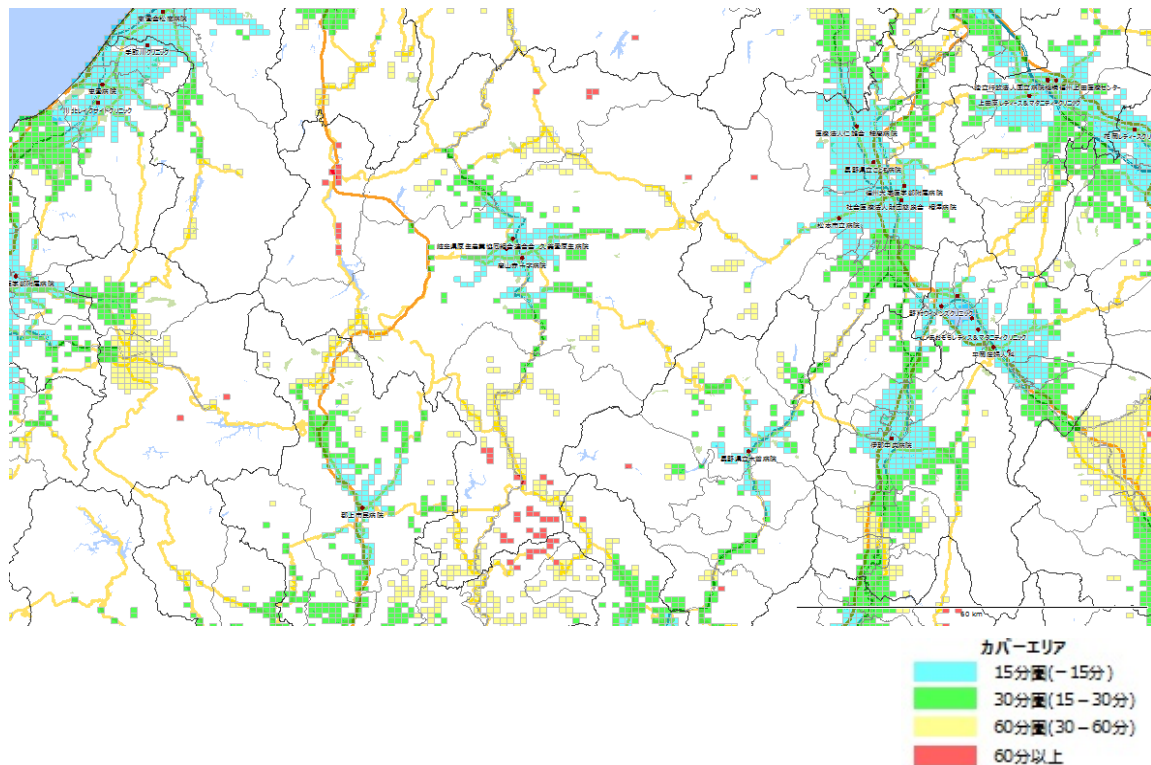
(飛騨医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表21-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。